

2016年度  
「卒業生アンケート」報告

## 2016年度 大東文化大学 卒業生アンケート

	○	
	○	

2017.3.22

ご卒業おめでとうございます。本アンケートは、卒業生のみなさんに大東文化大学のよりよき教育環境作りに提言をいただくために実施いたします。なにとぞ協力頂きたくお願い申し上げます。

<b>記入上の注意</b>	1. 記入はHBかBの黒鉛筆またはシャープペンで正確に塗りつぶしてください。 2. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。 3. 回答用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。 4. 正確に塗りつぶされていない場合は無効になります。	<b>記入例</b>	良いマーク ● 悪いマーク ● ○ ⊖ ⊗ ⊕
---------------	---	------------	----------------------------

**性別**    ① 男性    ② 女性    ※該当する方にマークしてください。

以下の設問について、以下の基準からあなたの評価を選び、回答欄にマークしてください。

1：そう思う(肯定)    2：少し思う(弱肯定)    3：あまり思わない(弱否定)    4：そう思わない(否定)

	回答欄
Q1 大東文化大学の理念・目的を知っていましたか。	① ② ③ ④
Q2 所属する学部・学科についての専門的知識が身に付いたと思いますか。	① ② ③ ④
Q3 授業以外で教員から声をかけられて挨拶をしたり親しく会話をしたりしましたか。	① ② ③ ④
Q4 大学4年間で自分の目標を達成できましたか。	① ② ③ ④
Q5 社会を生き抜く力(マナー、自己管理能力、コミュニケーション能力、問題解決能力など)が身についたと思いますか。	① ② ③ ④
Q6 キャンパス施設は満足できるものでしたか。	① ② ③ ④
Q7 授業科目の開講曜日・時限は、あなたにとって時間割が組みやすいものでしたか。	① ② ③ ④
Q8 4年間の大学生活で友人と呼べる仲間ができましたか。	① ② ③ ④
Q9 相談や悩みを解決するための大学サービス(相談窓口など)をよく知っていましたか。	① ② ③ ④
Q10 就職などの進路について、教員に相談をしましたか。	① ② ③ ④
Q11 4年間を通じて満足できる教育を受けたと思いますか。	① ② ③ ④
Q12 履修や学習について教員と相談する機会が十分にありましたか。	① ② ③ ④
Q13 入学前にもっていた期待は十分満たされましたか。	① ② ③ ④
Q14 卒業後に本学からメール・FB等で定期的な連絡(大学ニュース、イベントなど)があるとよいと思いますか。	① ② ③ ④
Q15 4年間を同一キャンパスで学ぶ方がよいと思いますか。	① ② ③ ④
Q16 事務職員から挨拶されたり話かけたりするなど、親身に接してもらったと思いますか。	① ② ③ ④
Q17 1年次に手厚い教育(大学で学ぶべきことや生活の指導)を受けましたか。	① ② ③ ④
Q18 本学でのあなたの学生生活は満足できるものでしたか。	① ② ③ ④
Q19 後輩・知人・友人などに大東文化大学の入学を勧めますか。	① ② ③ ④
Q20 【国際関係学部、スポーツ・健康科学部以外の人にかがいます】 1・2年次と3・4年次で勉学環境が変わるのは負担になりましたか。	① ② ③ ④
【記述欄】負担になったことを具体的に記載ください。	

【記述欄】本学をよりよくするために改善すべきことや提案があれば教えてください。

---



---



---



---

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。 大東文化大学FD委員会

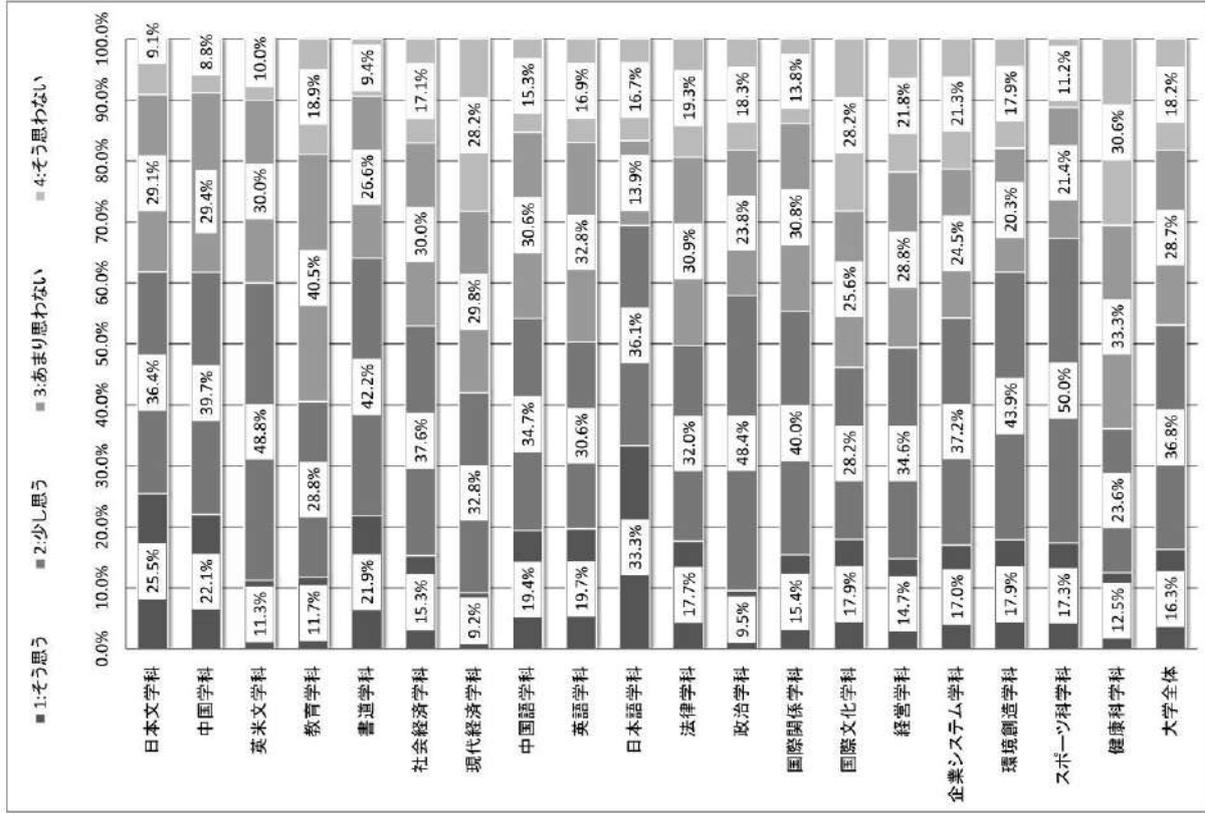


Q1. 大東文化大学の理念・目的を知っていましたか。

Q1 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学	14	20	16	5	55
中国学	15	27	20	6	68
英米文学	9	39	24	8	80
教育学	13	32	45	21	111
書道学	14	27	17	6	64
社会経済学	26	64	51	29	170
現代経済学	12	43	39	37	131
中国語学	14	25	22	11	72
英語学	36	56	60	31	183
日本語学	12	13	5	6	36
法学	32	58	56	35	181
政治学	12	61	30	23	126
国際関係学	10	26	20	9	65
国際文化学	14	22	20	22	78
経営学	23	54	45	34	156
企業システム学	16	35	23	20	94
環境創造学	22	54	25	22	123
スポーツ科学	17	49	21	11	98
健康科学	9	17	24	22	72
大学全体	320	722	563	358	1,963

Q1 <評価帯グラフ>



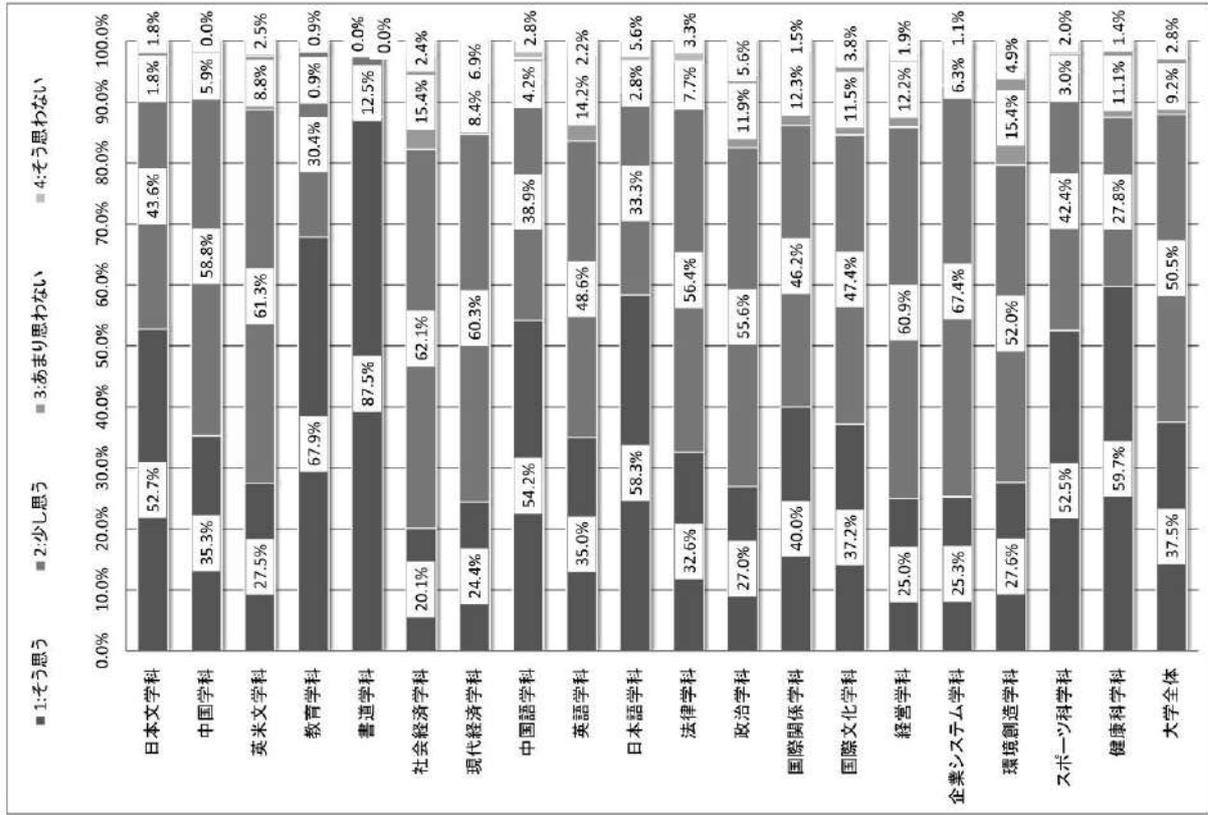
Q2. 所属する学部・学科についての  
専門知識が身に付いたと思いますか。

Q2 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学	29	24	1	1	55
中国学	24	40	4	0	68
英米文学	22	49	7	2	80
教育学	76	34	1	1	112
書道学	56	8	0	0	64
社会経済学	34	105	26	4	169
現代経済学	32	79	11	9	131
中国語学	39	28	3	2	72
英語学	64	89	26	4	183
日本語学	21	12	1	2	36
法学	59	102	14	6	181
政治学	34	70	15	7	126
国際関係学	26	30	8	1	65
国際文化学	29	37	9	3	78
経営学	39	95	19	3	156
企業システム学	24	64	6	1	95
環境創造学	34	64	19	6	123
スポーツ科学	52	42	3	2	99
健康科学	43	20	8	1	72
大学全体	737	992	181	55	1,965

(人)

Q2 <評価帯グラフ>



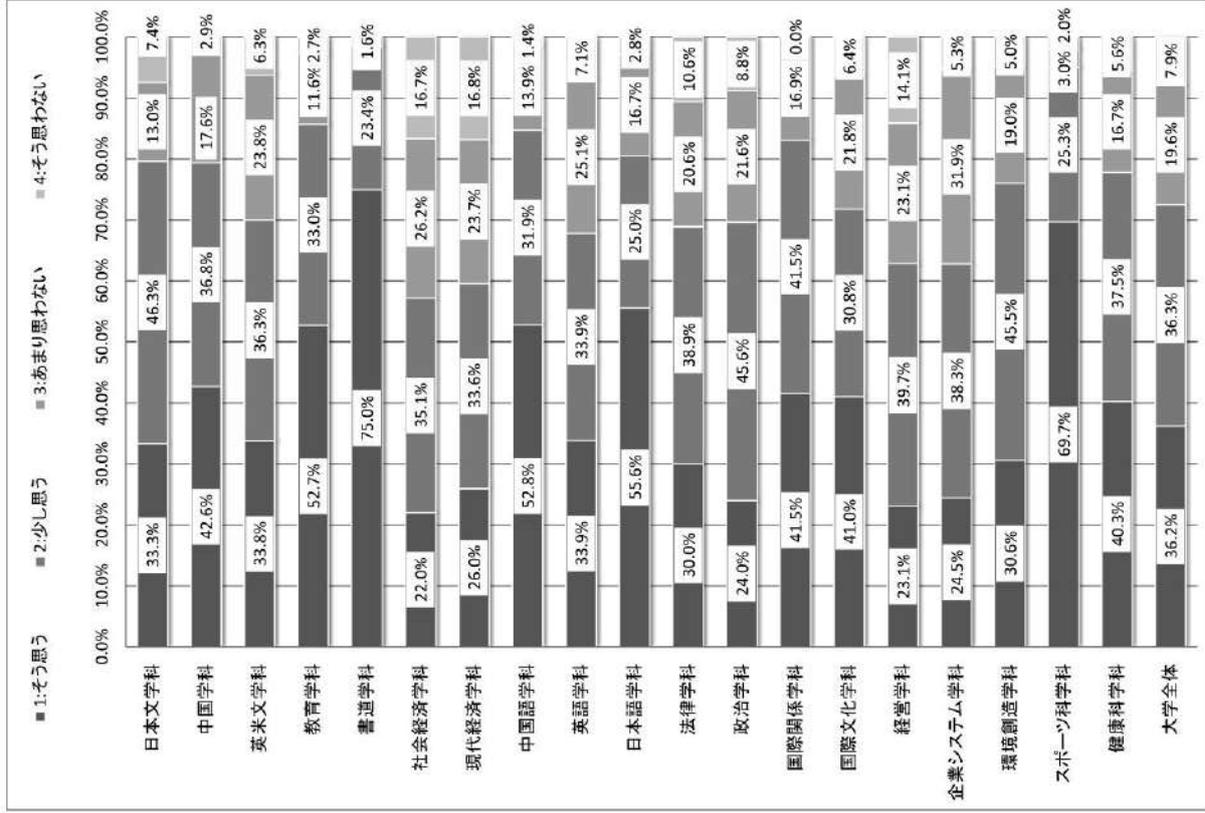
Q3. 授業以外で教員から声をかけられて  
挨拶をしたり親しく会話をしたりしましたか。

Q3 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	18	25	7	4	54
中国学科	29	25	12	2	68
英米文学科	27	29	19	5	80
教育学科	59	37	13	3	112
書道学科	48	15	0	1	64
社会経済学科	37	59	44	28	168
現代経済学科	34	44	31	22	131
中国語学科	38	23	10	1	72
英語学科	62	62	46	13	183
日本語学科	20	9	6	1	36
法律学科	54	70	37	19	180
政治学科	30	57	27	11	125
国際関係学科	27	27	11	0	65
国際文化学科	32	24	17	5	78
経営学科	36	62	36	22	156
企業システム学科	23	36	30	5	94
環境創造学科	37	55	23	6	121
スポーツ科学科	69	25	3	2	99
健康科学科	29	27	12	4	72
大学全体	709	711	384	154	1,958

(人)

Q3 <評価帯グラフ>



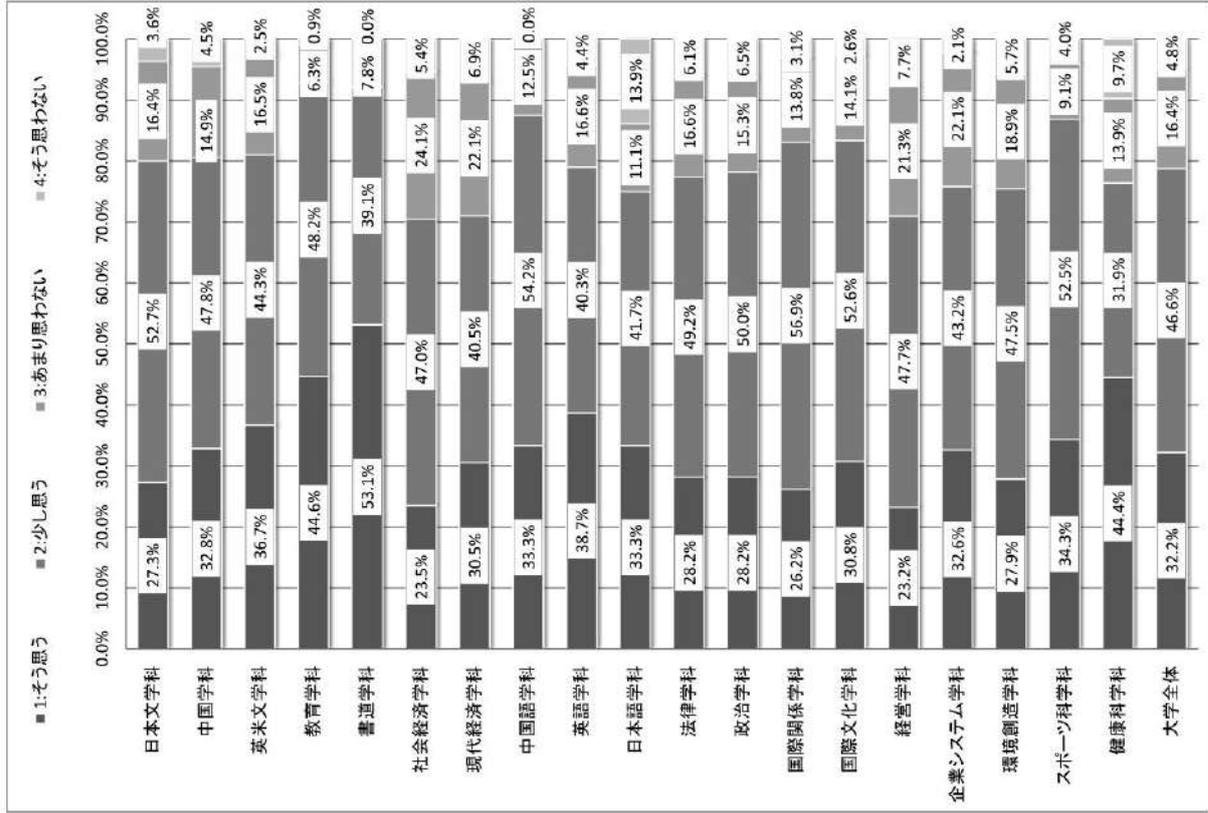
### Q4. 大学4年間で自分の目標を達成できましたか。

Q4 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	15	29	9	2	55
中国学科	22	32	10	3	67
英米文学科	29	35	13	2	79
教育学科	50	54	7	1	112
書道学科	34	25	5	0	64
社会経済学科	39	78	40	9	166
現代経済学科	40	53	29	9	131
中国語学科	24	39	9	0	72
英語学科	70	73	30	8	181
日本語学科	12	15	4	5	36
法律学科	51	89	30	11	181
政治学科	35	62	19	8	124
国際関係学科	17	37	9	2	65
国際文化学科	24	41	11	2	78
経営学科	36	74	33	12	155
企業システム学科	31	41	21	2	95
環境創造学科	34	58	23	7	122
スポーツ科学科	34	52	9	4	99
健康科学科	32	23	10	7	72
大学全体	629	910	321	94	1,954

(人)

### Q4 <評価帯グラフ>



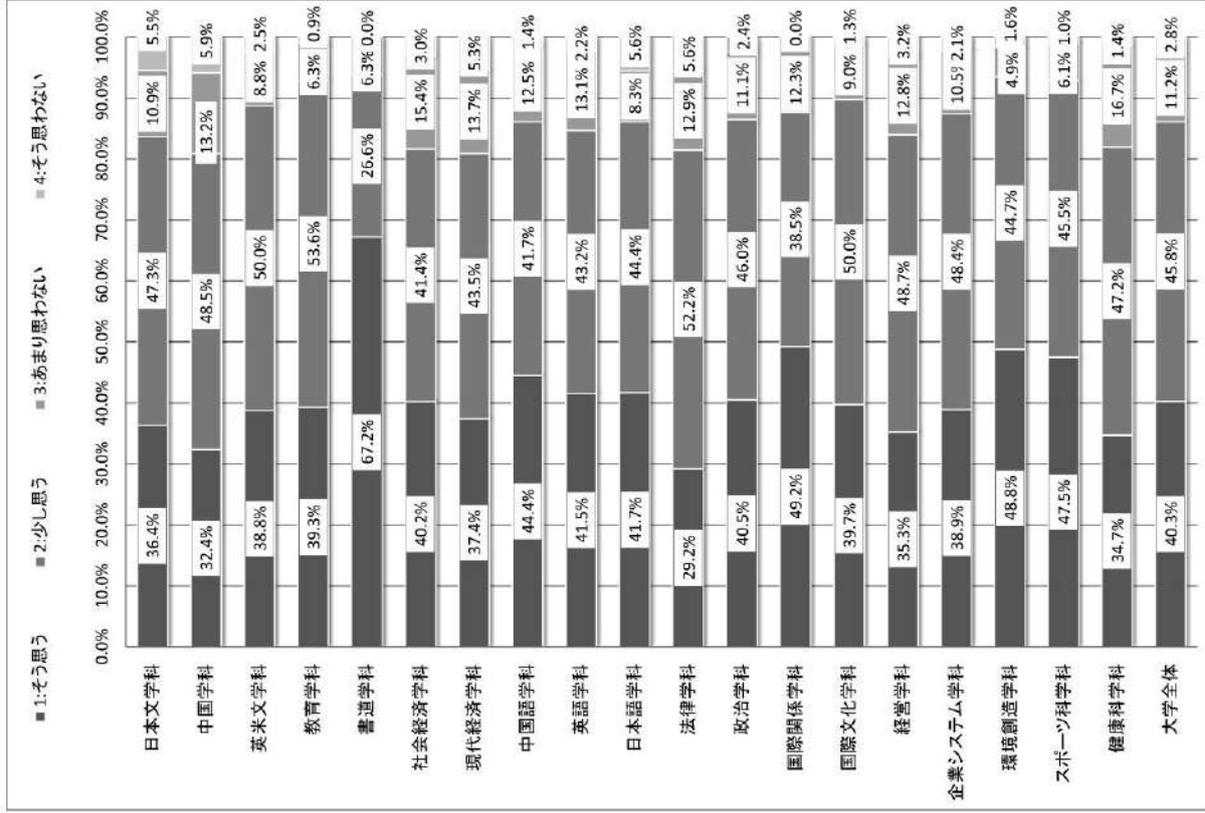
Q5. 社会を生き抜く力(マナー、自己管理能力、コミュニケーション能力  
問題解決力など)が身に付いたと思いますか。

Q5 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	20	26	6	3	55
中国学科	22	33	9	4	68
英米文学科	31	40	7	2	80
教育学科	44	60	7	1	112
書道学科	43	17	4	0	64
社会経済学科	68	70	26	5	169
現代経済学科	49	57	18	7	131
中国語学科	32	30	9	1	72
英語学科	76	79	24	4	183
日本語学科	15	16	3	2	36
法律学科	52	93	23	10	178
政治学科	51	58	14	3	126
国際関係学科	32	25	8	0	65
国際文化学科	31	39	7	1	78
経営学科	55	76	20	5	156
企業システム学科	37	46	10	2	95
環境創造学科	60	55	6	2	123
スポーツ科学科	47	45	6	1	99
健康科学科	25	34	12	1	72
大学全体	790	899	219	54	1,962

(人)

Q5 <評価帯グラフ>



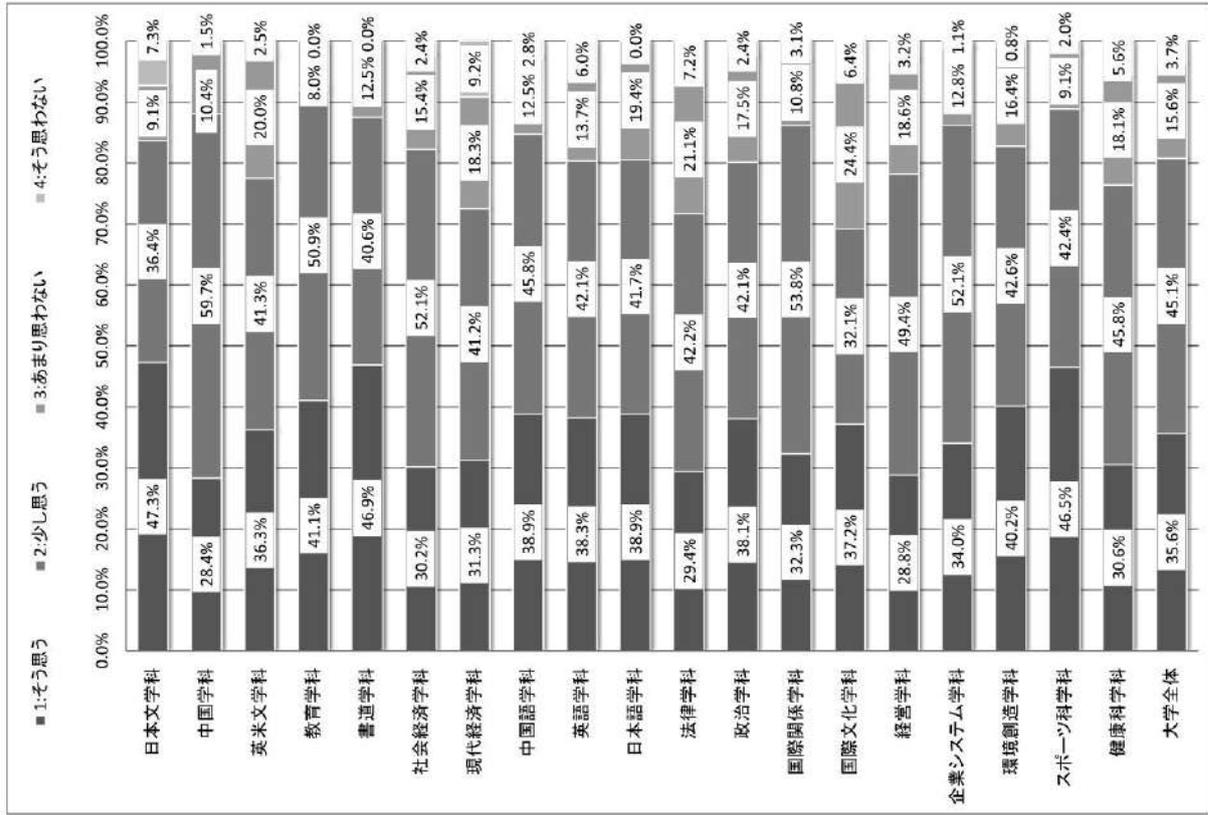
Q6. キャンパス施設は満足できるものでしたか。

Q6 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	26	20	5	4	55
中国学科	19	40	7	1	67
英米文学科	29	33	16	2	80
教育学科	46	57	9	0	112
書道学科	30	26	8	0	64
社会経済学科	51	88	26	4	169
現代経済学科	41	54	24	12	131
中国語学科	28	33	9	2	72
英語学科	70	77	25	11	183
日本語学科	14	15	7	0	36
法律学科	53	76	38	13	180
政治学科	48	53	22	3	126
国際関係学科	21	35	7	2	65
国際文化学科	29	25	19	5	78
経営学科	45	77	29	5	156
企業システム学科	32	49	12	1	94
環境創造学科	49	52	20	1	122
スポーツ科学科	46	42	9	2	99
健康科学科	22	33	13	4	72
大学全体	699	885	305	72	1,961

(人)

Q6 <評価帯グラフ>

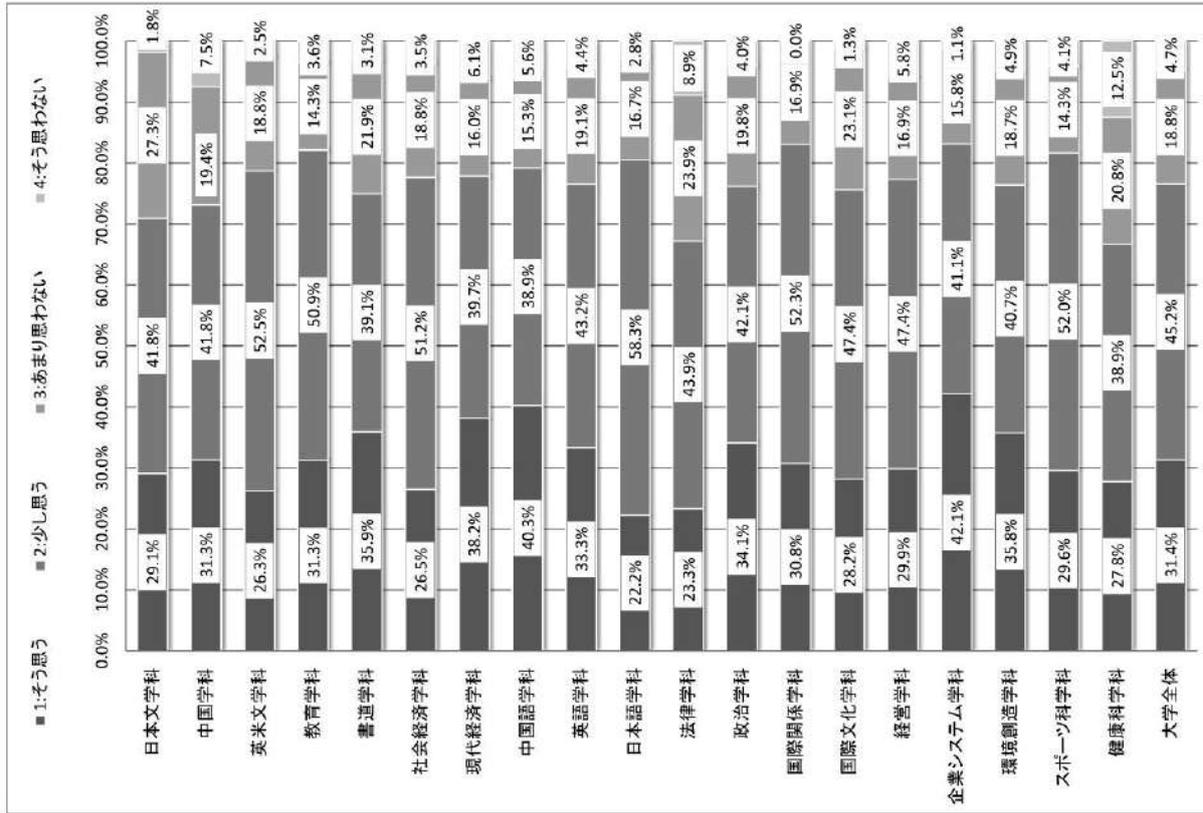


Q7. 授業科目の開講曜日・時間は、あなたにとって  
時間割が組みやすいものでしたか。

Q7 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	16	23	15	1	55
中国学科	21	28	13	5	67
英米文学科	21	42	15	2	80
教育学科	35	57	16	4	112
書道学科	23	25	14	2	64
社会経済学科	45	87	32	6	170
現代経済学科	50	52	21	8	131
中国語学科	29	28	11	4	72
英語学科	61	79	35	8	183
日本語学科	8	21	6	1	36
法律学科	42	79	43	16	180
政治学科	43	53	25	5	126
国際関係学科	20	34	11	0	65
国際文化学科	22	37	18	1	78
経営学科	46	73	26	9	154
企業システム学科	40	39	15	1	95
環境創造学科	44	50	23	6	123
スポーツ科学科	29	51	14	4	98
健康科学科	20	28	15	9	72
大学全体	615	886	368	92	1,961

Q7 <評価帯グラフ>



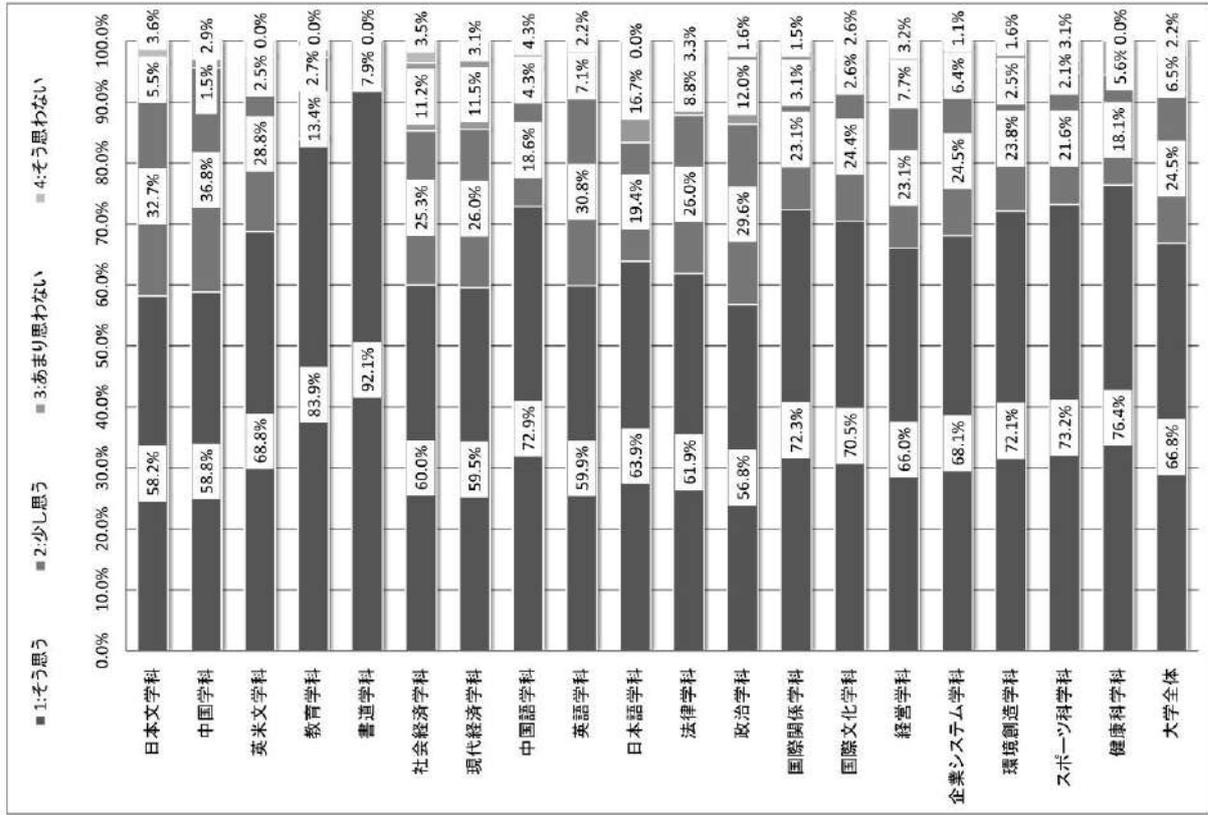
Q8. 4年間の大学生活で友人と呼べる仲間ができましたか。

Q8 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	32	18	3	2	55
中国学科	40	25	1	2	68
英米文学科	55	23	2	0	80
教育学科	94	15	3	0	112
書道学科	58	5	0	0	63
社会経済学科	102	43	19	6	170
現代経済学科	78	34	15	4	131
中国語学科	51	13	3	3	70
英語学科	109	56	13	4	182
日本語学科	23	7	6	0	36
法律学科	112	47	16	6	181
政治学科	71	37	15	2	125
国際関係学科	47	15	2	1	65
国際文化学科	55	19	2	2	78
経営学科	103	36	12	5	156
企業システム学科	64	23	6	1	94
環境創造学科	88	29	3	2	122
スポーツ科学科	71	21	2	3	97
健康科学科	55	13	4	0	72
大学全体	1,308	479	127	43	1,957

(人)

Q8 <評価帯グラフ>

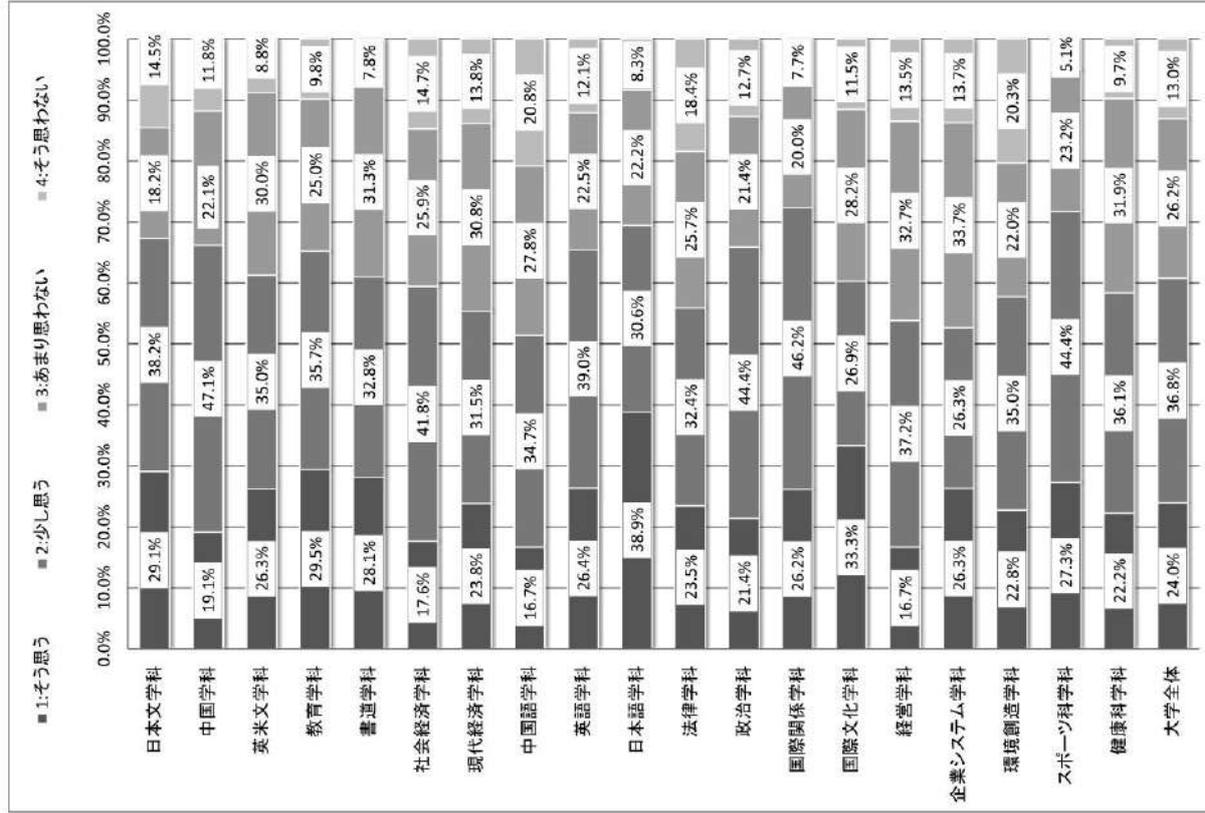


Q9. 相談や悩みを解決するための大学サービス  
(相談窓口などをよく知っていましたか。)

Q9 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	16	21	10	8	55
中国学科	13	32	15	8	68
英米文学科	21	28	24	7	80
教育学科	33	40	28	11	112
書道学科	18	21	20	5	64
社会経済学科	30	71	44	25	170
現代経済学科	31	41	40	18	130
中国語学科	12	25	20	15	72
英語学科	48	71	41	22	182
日本語学科	14	11	8	3	36
法律学科	42	58	46	33	179
政治学科	27	56	27	16	126
国際関係学科	17	30	13	5	65
国際文化学科	26	21	22	9	78
経営学科	26	58	51	21	156
企業システム学科	25	25	32	13	95
環境創造学科	28	43	27	25	123
スポーツ科学科	27	44	23	5	99
健康科学科	16	26	23	7	72
大学全体	470	722	514	256	1,962

Q9 <評価帯グラフ>



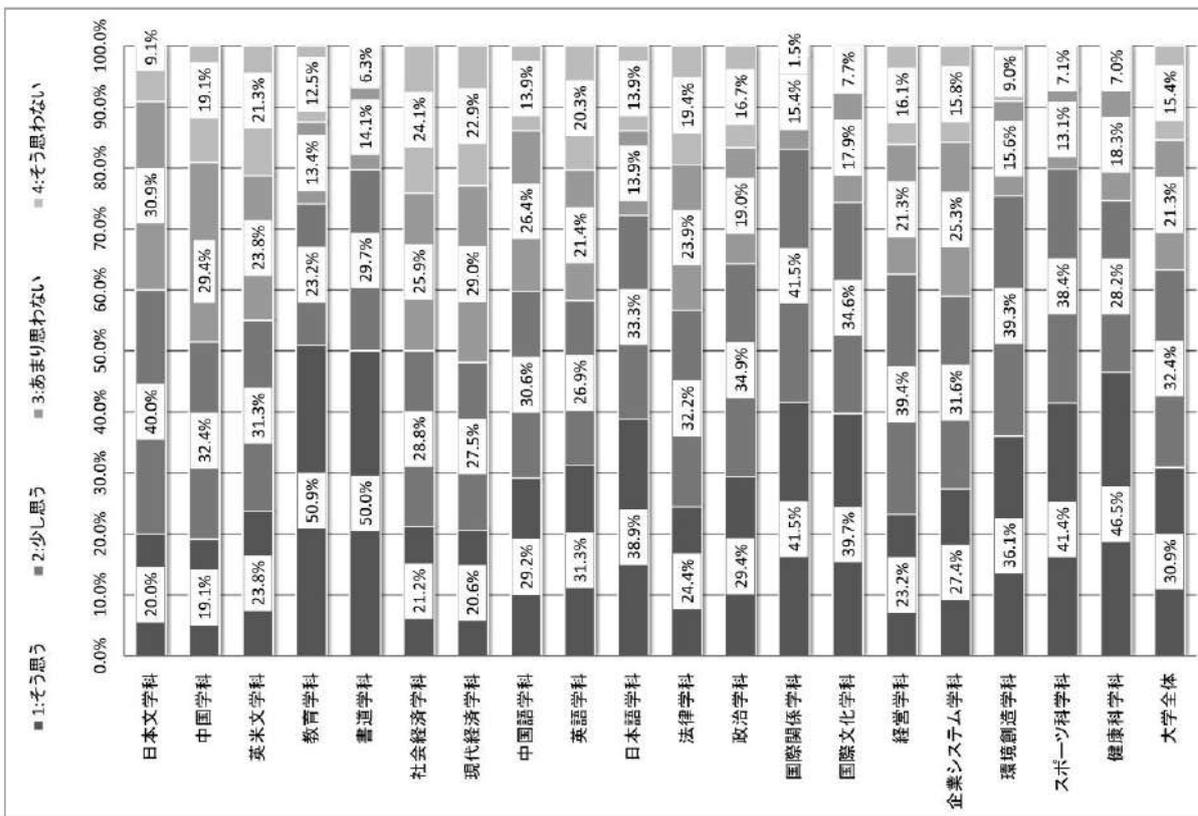
Q10. 就職などの進路について、教員に相談しましたか。

Q10 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学	11	22	17	5	55
中国学	13	22	20	13	68
英米文学	19	25	19	17	80
教育学	57	26	15	14	112
書道学	32	19	9	4	64
社会経済学	36	49	44	41	170
現代経済学	27	36	38	30	131
中国語学	21	22	19	10	72
英語学	57	49	39	37	182
日本語学	14	12	5	5	36
法学	44	58	43	35	180
政治学	37	44	24	21	126
国際関係学	27	27	10	1	65
国際文化学	31	27	14	6	78
経営学	36	61	33	25	155
企業システム学	26	30	24	15	95
環境創造学	44	48	19	11	122
スポーツ科学	41	38	13	7	99
健康科学	33	20	13	5	71
大学全体	606	635	418	302	1,961

(人)

Q10 <評価帯グラフ>



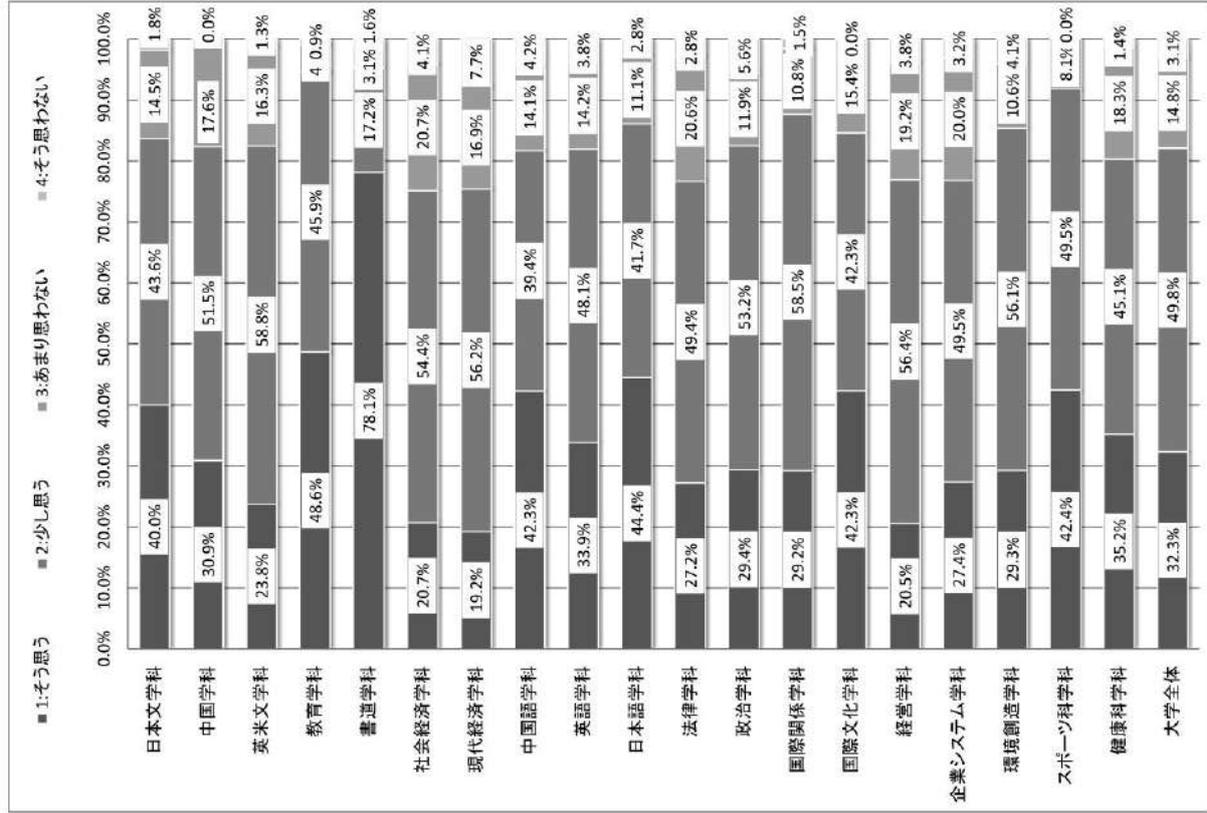
### Q11. 4年間を通じて満足できる教育を受けたと思いますか。

Q11 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	22	24	8	1	55
中国学科	21	35	12	0	68
英米文学科	19	47	13	1	80
教育学科	54	51	5	1	111
書道学科	50	11	2	1	64
社会経済学科	35	92	35	7	169
現代経済学科	25	73	22	10	130
中国語学科	30	28	10	3	71
英語学科	62	88	26	7	183
日本語学科	16	15	4	1	36
法律学科	49	89	37	5	180
政治学科	37	67	15	7	126
国際関係学科	19	38	7	1	65
国際文化学科	33	33	12	0	78
経営学科	32	88	30	6	156
企業システム学科	26	47	19	3	95
環境創造学科	36	69	13	5	123
スポーツ科学科	42	49	8	0	99
健康科学科	25	32	13	1	71
大学全体	633	976	291	60	1,960

(人)

Q11 <評価帯グラフ>



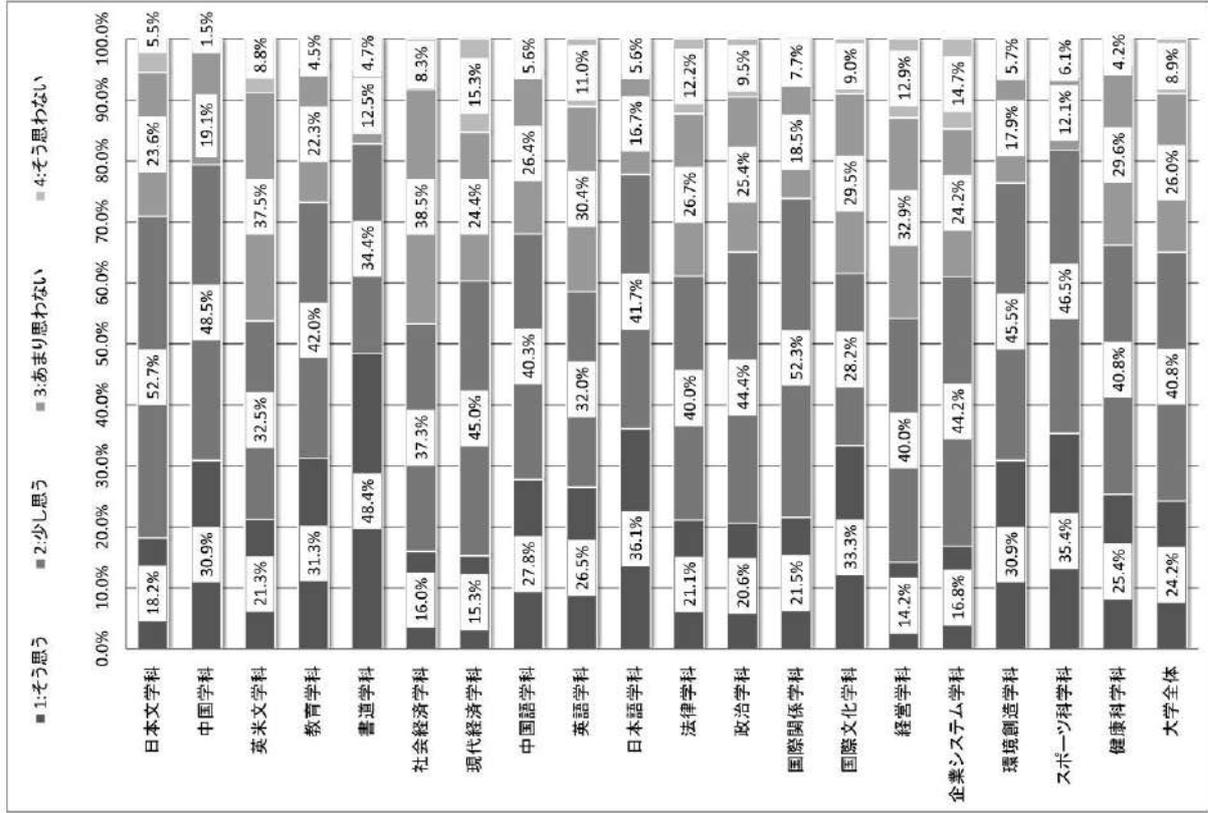
Q12. 履修や学習について教員と相談する機会が十分にありましたか。

Q12 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	10	29	13	3	55
中国学科	21	33	13	1	68
英米文学科	17	26	30	7	80
教育学科	35	47	25	5	112
書道学科	31	22	8	3	64
社会経済学科	27	63	65	14	169
現代経済学科	20	59	32	20	131
中国語学科	20	29	19	4	72
英語学科	48	58	55	20	181
日本語学科	13	15	6	2	36
法律学科	38	72	48	22	180
政治学科	26	56	32	12	126
国際関係学科	14	34	12	5	65
国際文化学科	26	22	23	7	78
経営学科	22	62	51	20	155
企業システム学科	16	42	23	14	95
環境創造学科	38	56	22	7	123
スポーツ科学科	35	46	12	6	99
健康科学科	18	29	21	3	71
大学全体	475	800	510	175	1,960

(人)

Q12 <評価帯グラフ>



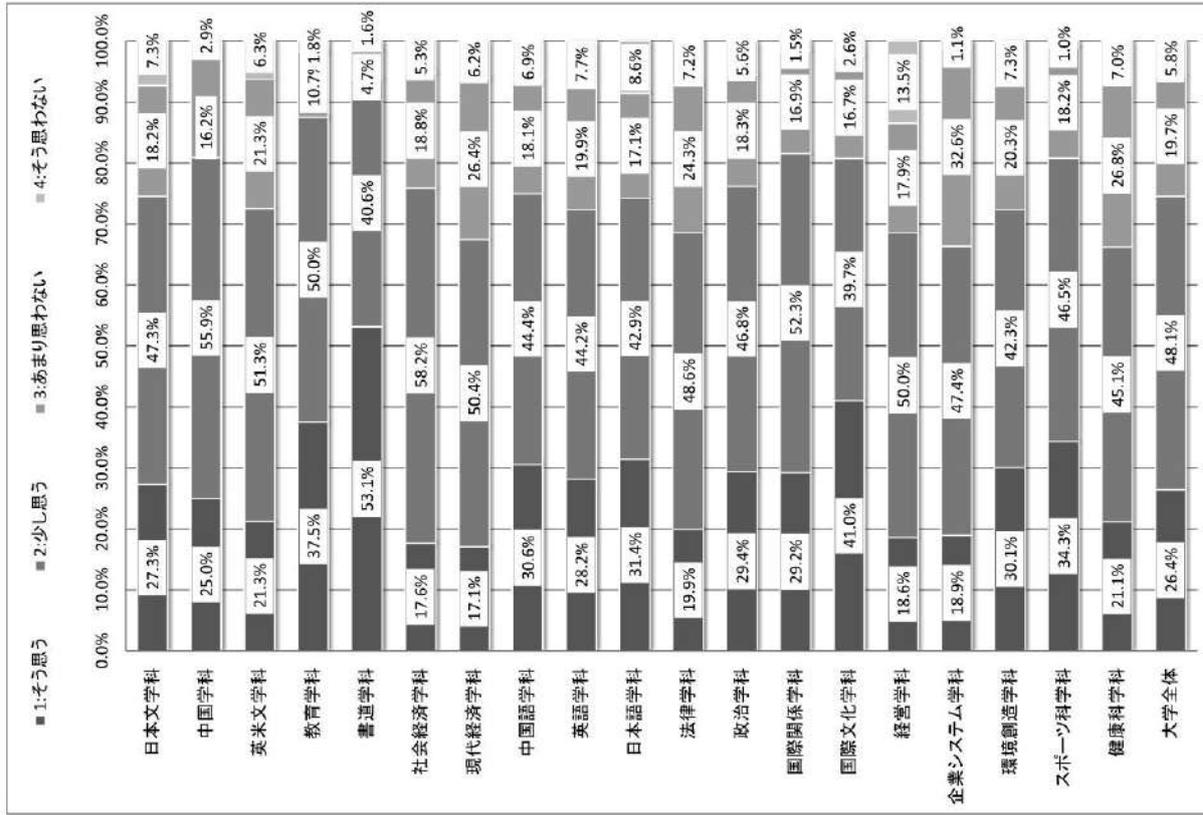
Q13. 入学前にもっていた期待は十分満たされましたか。

Q13 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	15	26	10	4	55
中国学科	17	38	11	2	68
英米文学科	17	41	17	5	80
教育学科	42	56	12	2	112
書道学科	34	26	3	1	64
社会経済学科	30	99	32	9	170
現代経済学科	22	65	34	8	129
中国語学科	22	32	13	5	72
英語学科	51	80	36	14	181
日本語学科	11	15	6	3	35
法律学科	36	88	44	13	181
政治学科	37	59	23	7	126
国際関係学科	19	34	11	1	65
国際文化学科	32	31	13	2	78
経営学科	29	78	28	21	156
企業システム学科	18	45	31	1	95
環境創造学科	37	52	25	9	123
スポーツ科学科	34	46	18	1	99
健康科学科	15	32	19	5	71
大学全体	518	943	386	113	1,960

(人)

Q13 <評価帯グラフ>



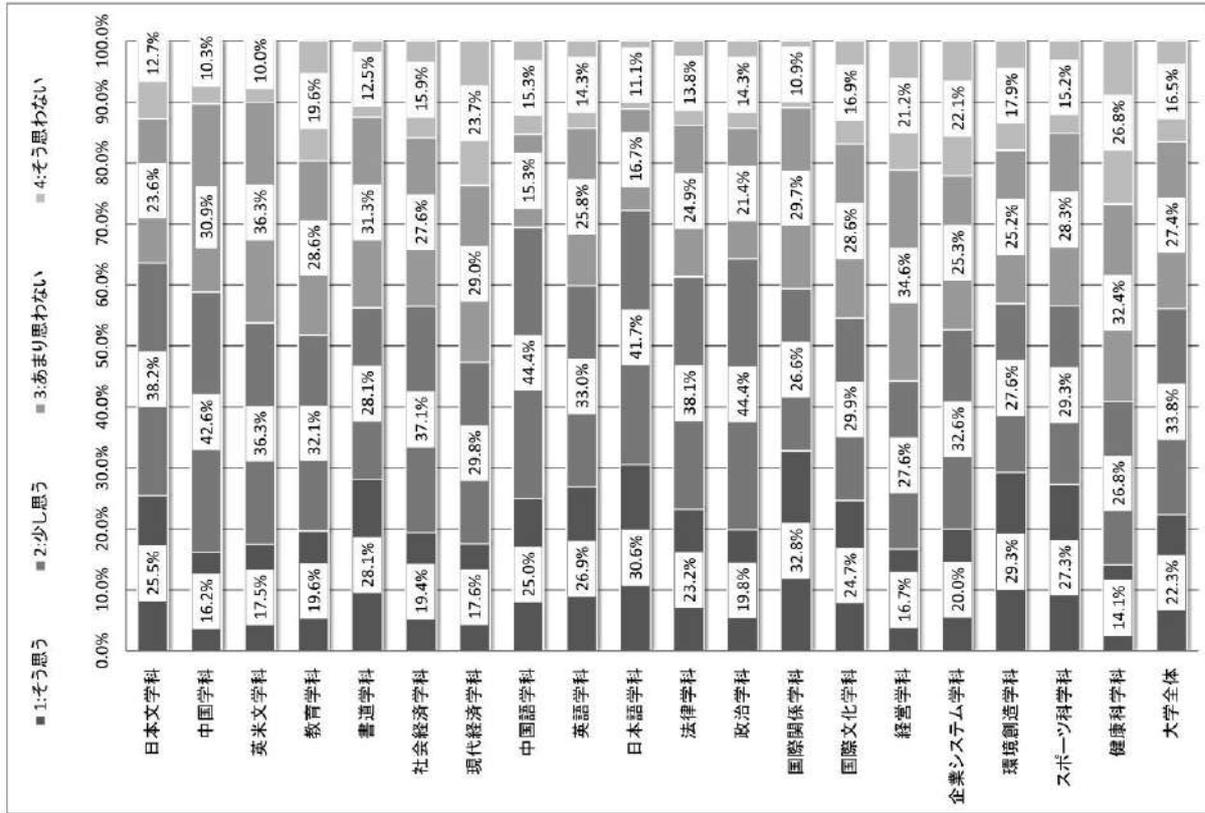
Q14. 卒業後に本学からメール・FB等で定期的な連絡  
(大学ニュース、イベントなど)があるとよいと思いませんか。

Q14 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	14	21	13	7	55
中国学科	11	29	21	7	68
英米文学科	14	29	29	8	80
教育学科	22	36	32	22	112
書道学科	18	18	20	8	64
社会経済学科	33	63	47	27	170
現代経済学科	23	39	38	31	131
中国語学科	18	32	11	11	72
英語学科	49	60	47	26	182
日本語学科	11	15	6	4	36
法律学科	42	69	45	25	181
政治学科	25	56	27	18	126
国際関係学科	21	17	19	7	64
国際文化学科	19	23	22	13	77
経営学科	26	43	54	33	156
企業システム学科	19	31	24	21	95
環境創造学科	36	34	31	22	123
スポーツ科学科	27	29	28	15	99
健康科学科	10	19	23	19	71
大学全体	438	663	537	324	1,962

(人)

Q14 <評価帯グラフ>



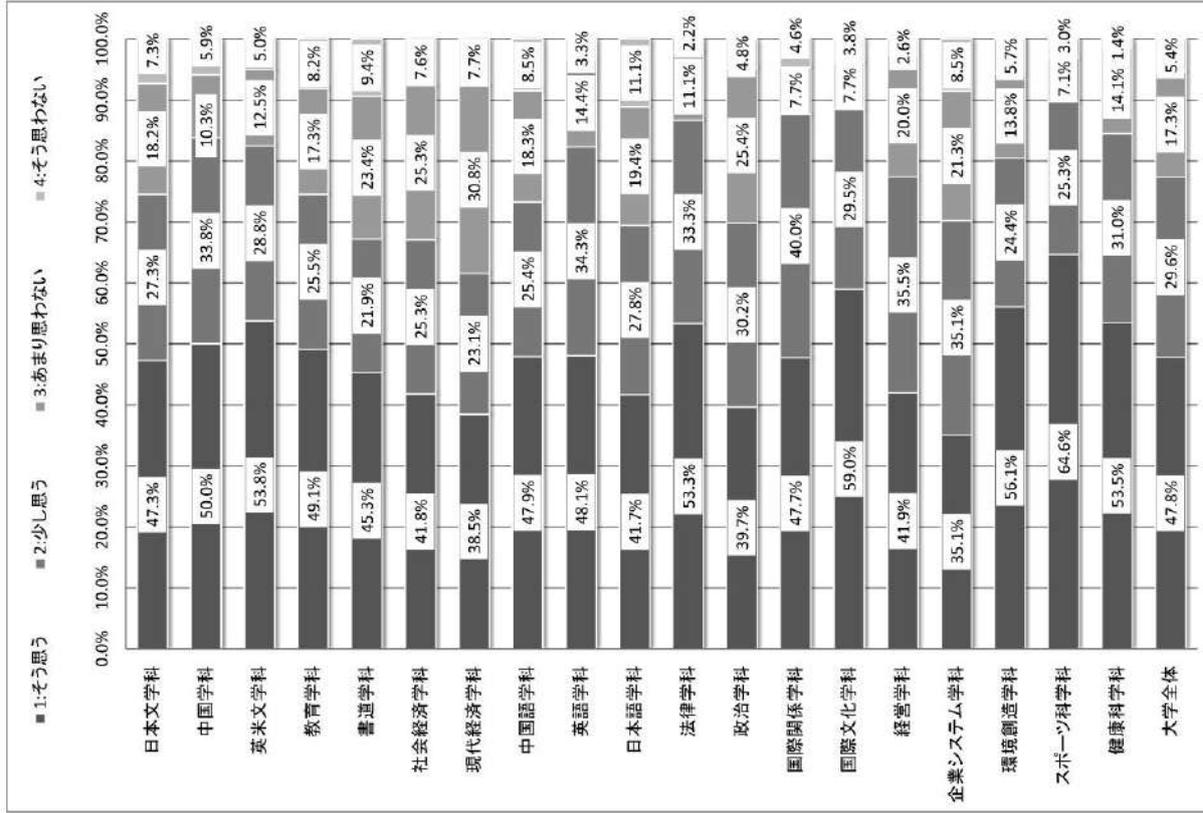
Q15. 4年間で同一キャンパスで学ぼうが良いと思いますか。

Q15 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学	26	15	10	4	55
中国学	34	23	7	4	68
英米文学	43	23	10	4	80
教育学	54	28	19	9	110
書道学	29	14	15	6	64
社会経済学	71	43	43	13	170
現代経済学	50	30	40	10	130
中国語学	34	18	13	6	71
英語学	87	62	26	6	181
日本語学	15	10	7	4	36
法律学	96	60	20	4	180
政治学	50	38	32	6	126
国際関係学	31	26	5	3	65
国際文化学	46	23	6	3	78
経営学	65	55	31	4	155
企業システム学	33	33	20	8	94
環境創造学	69	30	17	7	123
スポーツ科学	64	25	7	3	99
健康科学	38	22	10	1	71
大学全体	935	578	338	105	1,956

(人)

Q15 <評価帯グラフ>



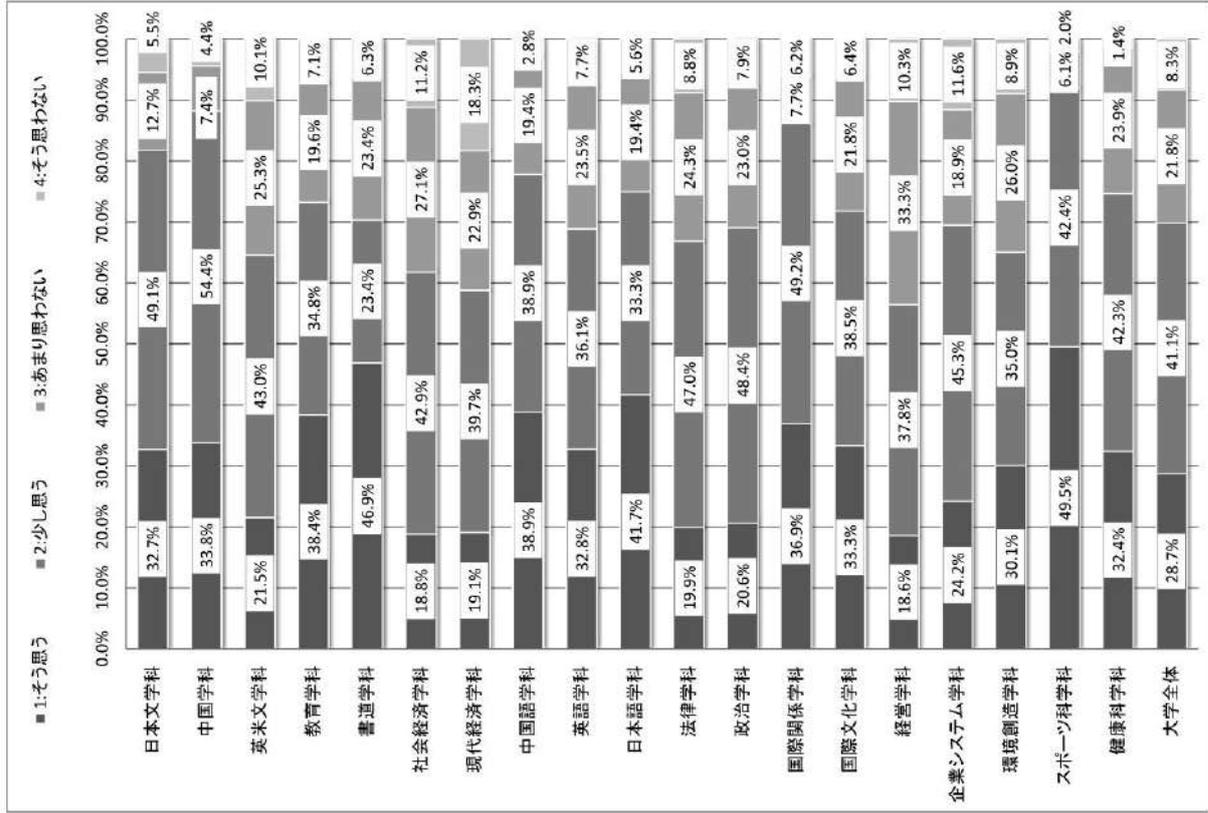
Q16. 事務職員から挨拶されたり話しかけたりするなど、  
親身に接してもらったと思いますか。

Q16 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	18	27	7	3	55
中国学科	23	37	5	3	68
英米文学科	17	34	20	8	79
教育学科	43	39	22	8	112
書道学科	30	15	15	4	64
社会経済学科	32	73	46	19	170
現代経済学科	25	52	30	24	131
中国語学科	28	28	14	2	72
英語学科	60	66	43	14	183
日本語学科	15	12	7	2	36
法律学科	36	85	44	16	181
政治学科	26	61	29	10	126
国際関係学科	24	32	5	4	65
国際文化学科	26	30	17	5	78
経営学科	29	59	52	16	156
企業システム学科	23	43	18	11	95
環境創造学科	37	43	32	11	123
スポーツ科学科	49	42	6	2	99
健康科学科	23	30	17	1	71
大学全体	564	808	429	163	1,964

(人)

Q16 <評価帯グラフ>



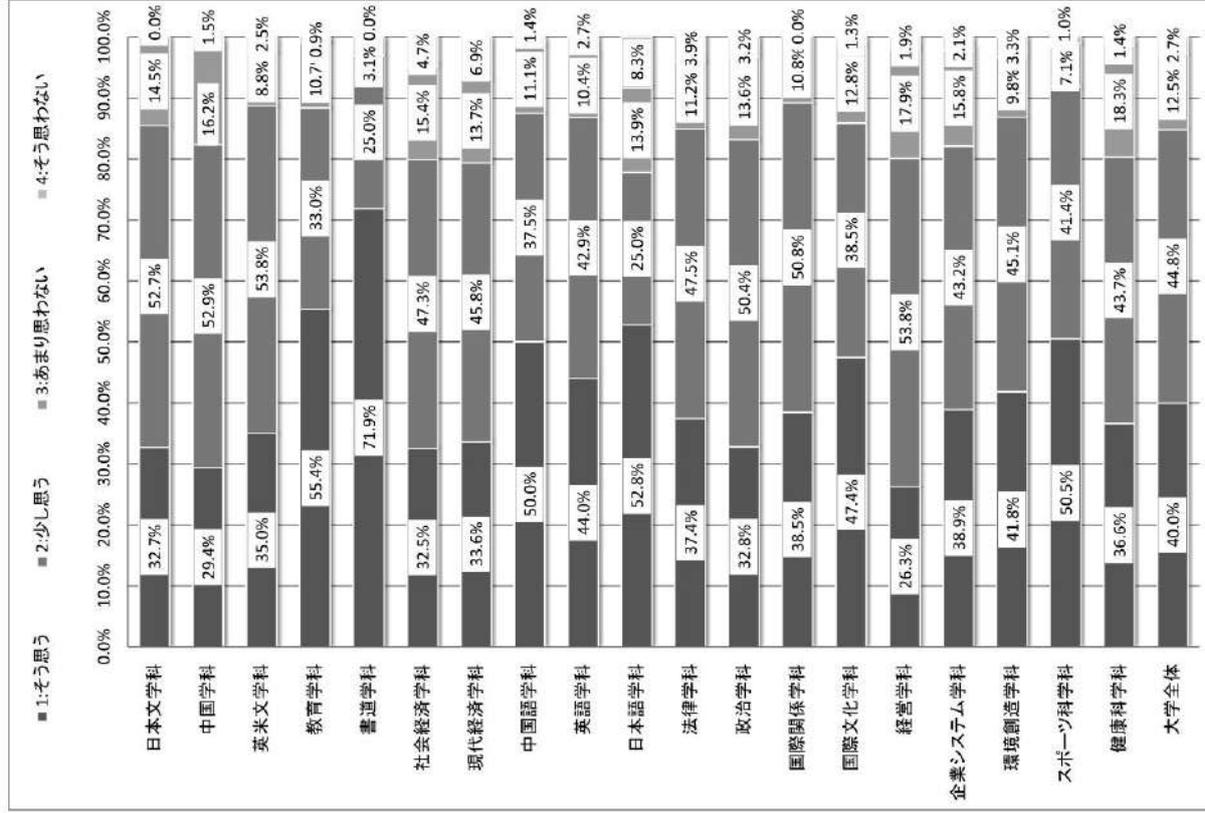
Q17. 1年次に手厚い教育(大学で学ぶことや生活の指導)を受けましたか。

Q17 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	18	29	8	0	55
中国学科	20	36	11	1	68
英米文学科	28	43	7	2	80
教育学科	62	37	12	1	112
書道学科	46	16	2	0	64
社会経済学科	55	80	26	8	169
現代経済学科	44	60	18	9	131
中国語学科	36	27	8	1	72
英語学科	80	78	19	5	182
日本語学科	19	9	5	3	36
法律学科	67	85	20	7	179
政治学科	41	63	17	4	125
国際関係学科	25	33	7	0	65
国際文化学科	37	30	10	1	78
経営学科	41	84	28	3	156
企業システム学科	37	41	15	2	95
環境創造学科	51	55	12	4	122
スポーツ科学科	50	41	7	1	99
健康科学科	26	31	13	1	71
大学全体	783	878	245	53	1,959

(人)

Q17 <評価帯グラフ>



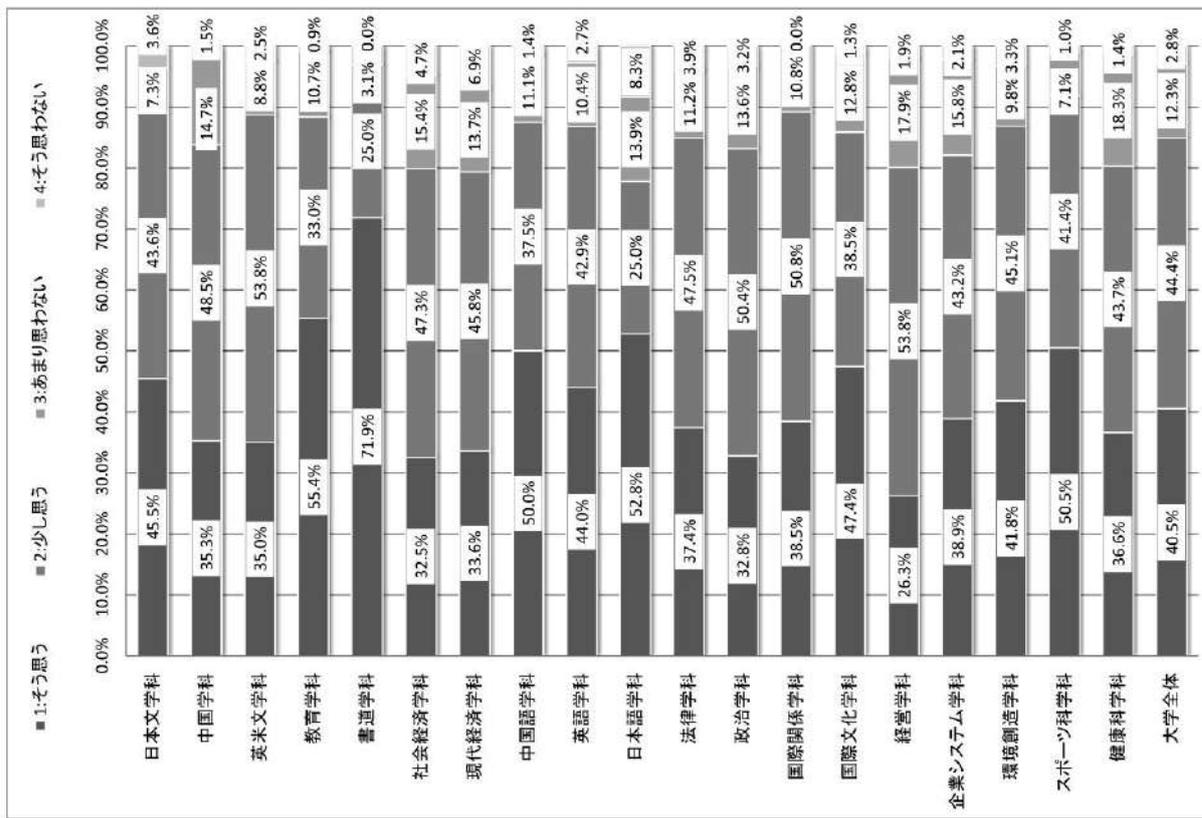
Q18. 本学でのあなたの学生生活は満足できるものでしたか。

Q18 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	25	24	4	2	55
中国学科	24	33	10	1	68
英米文学科	28	43	7	2	80
教育学科	62	37	12	1	112
書道学科	46	16	2	0	64
社会経済学科	55	80	26	8	169
現代経済学科	44	60	18	9	131
中国語学科	36	27	8	1	72
英語学科	80	78	19	5	182
日本語学科	19	9	5	3	36
法律学科	67	85	20	7	179
政治学科	41	63	17	4	125
国際関係学科	25	33	7	0	65
国際文化学科	37	30	10	1	78
経営学科	41	84	28	3	156
企業システム学科	37	41	15	2	95
環境創造学科	51	55	12	4	122
スポーツ科学科	50	41	7	1	99
健康科学科	26	31	13	1	71
大学全体	794	870	240	55	1,959

(人)

Q18 <評価帯グラフ>



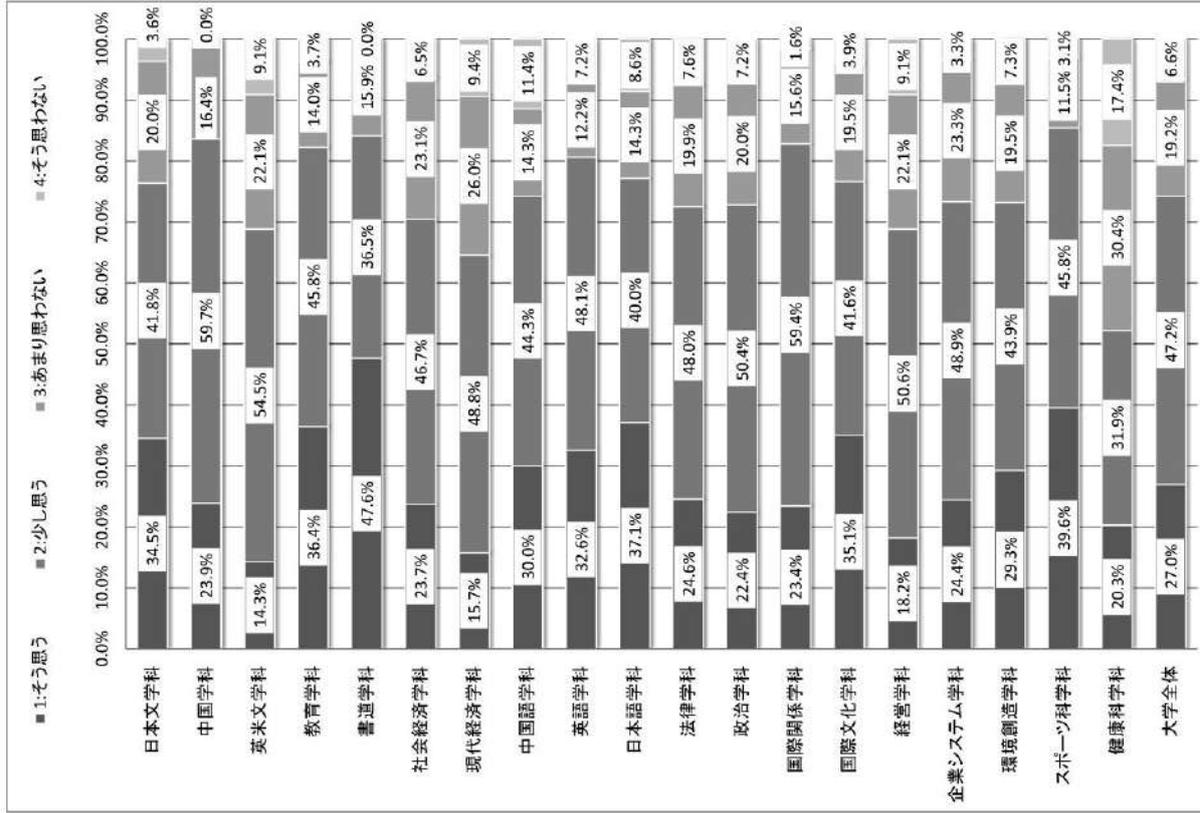
Q19. 後輩・知人・友人などに大東文化大学への入学を勧めますか。

Q19 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	19	23	11	2	55
中国学科	16	40	11		67
英米文学科	11	42	17	7	77
教育学科	39	49	15	4	107
書道学科	30	23	10	0	63
社会経済学科	40	79	39	11	169
現代経済学科	20	62	33	12	127
中国語学科	21	31	10	8	70
英語学科	59	87	22	13	181
日本語学科	13	14	5	3	35
法律学科	42	82	34	13	171
政治学科	28	63	25	9	125
国際関係学科	15	38	10	1	64
国際文化学科	27	32	15	3	77
経営学科	28	78	34	14	154
企業システム学科	22	44	21	3	90
環境創造学科	36	54	24	9	123
スポーツ科学科	38	44	11	3	96
健康科学科	14	22	21	12	69
大学全体	518	907	368	127	1,920

(人)

Q19 <評価帯グラフ>

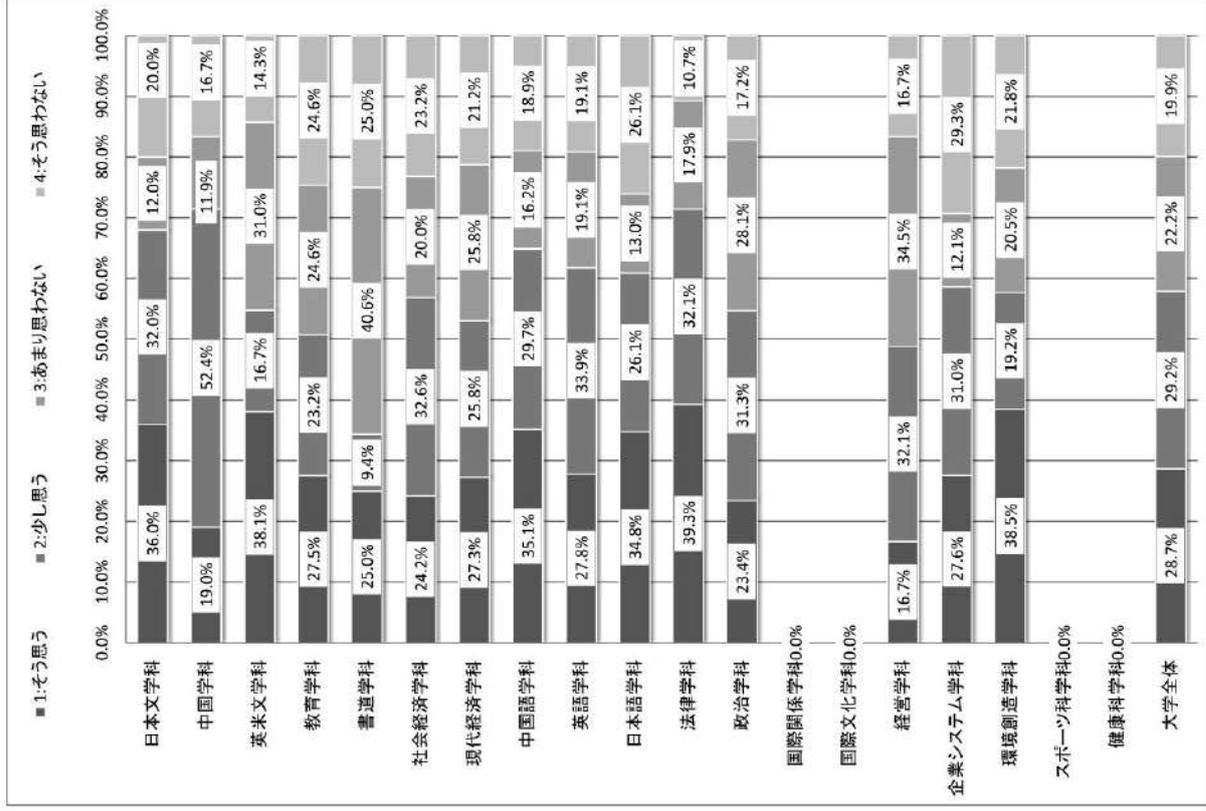


**Q20.【国際関係学部、スポーツ・健康科学部以外の人のうちかがいがあります】  
1・2年次と3・4年次で勉学環境が変わるのは負担になりましたか。**

Q20 <学科別集計表>

	1:そう思う (肯定)	2:少し思う (弱肯定)	3:あまり思わない (弱否定)	4:そう思わない (否定)	計
日本文学科	9	8	3	5	25
中国学科	8	22	5	7	42
英米文学科	16	7	13	6	42
教育学科	19	16	17	17	69
書道学科	8	3	13	8	32
社会経済学科	23	31	19	22	95
現代経済学科	18	17	17	14	66
中国語学科	13	11	6	7	37
英語学科	32	39	22	22	115
日本語学科	8	6	3	6	23
法律学科	33	27	15	9	84
政治学科	15	20	18	11	64
国際関係学科	0	0	0	0	0
国際文化学科	0	0	0	0	0
経営学科	14	27	29	14	84
企業システム学科	16	18	7	17	58
環境創造学科	30	15	16	17	78
スポーツ科学科	0	0	0	0	0
健康科学科	0	0	0	0	0
大学全体	262	267	203	182	914

Q20 <評価帯グラフ>



## 2016年度卒業生アンケートの集計結果に関する分析

### 1. 前提

- (1) 本報告は、大学全体の教育改善等に活かすためのものであり、各学科の優劣などを比較する意図はございません。
- (2) 基本的に、分析に際し、全学的に特質すべき点や重要と思われる事項を記しました。
- (3) 設問における回答の選択肢は以下の通りです。

**※評価基準【全設問共通】**

「1：そう思う（肯定）」 「2：少し思う（弱肯定）」、「3：あまり思わない（弱否定）」 「4：思わない（否定）」

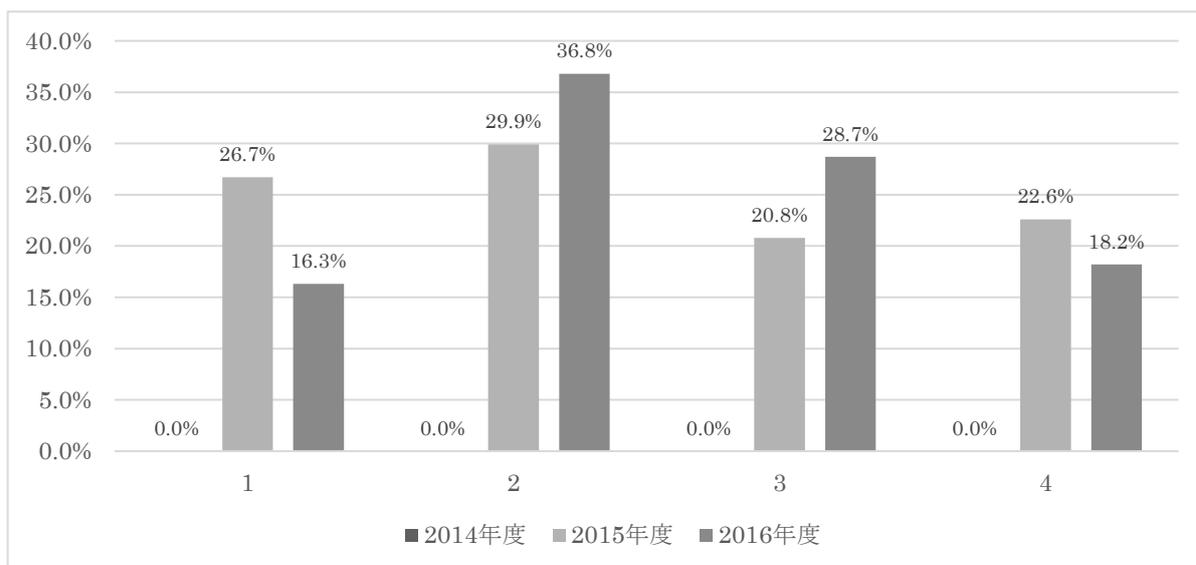
### 2. 卒業生アンケート集計結果

集計結果は、本学 HP にも掲載されています。

大学トップページ ➡ 「大学案内」 ➡ 「自己点検・評価／大学 FD 活動」 ➡ 「大学 FD 活動」 ➡ 「卒業生アンケート」 <http://www.daito.ac.jp/information/examine/fd/index.html>

### 3. 各設問に関する分析

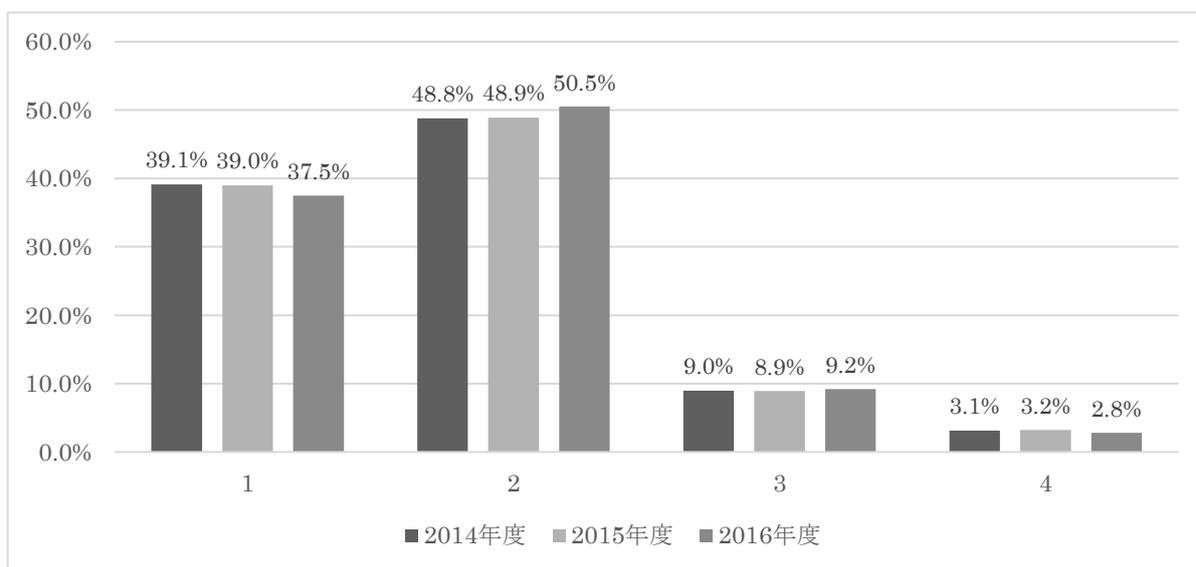
#### ● 「Q 1. 大東文化大学の理念・目的を知っていましたか。」



2015年度の設問は、本学の「理念・目的」を学生に分かりやすいキーワードである「多文化共生」として質問したが、2016年度では「理念・目的」のみとした。

2016年度の「そう思う（肯定）」「少し思う（弱肯定）」の値は53.1%で、2015年度の56.6%より少し下がっている。設問自体がわかりやすくなったといえ、本学の学生認知度においてはまだまだ低い数字だといえる。

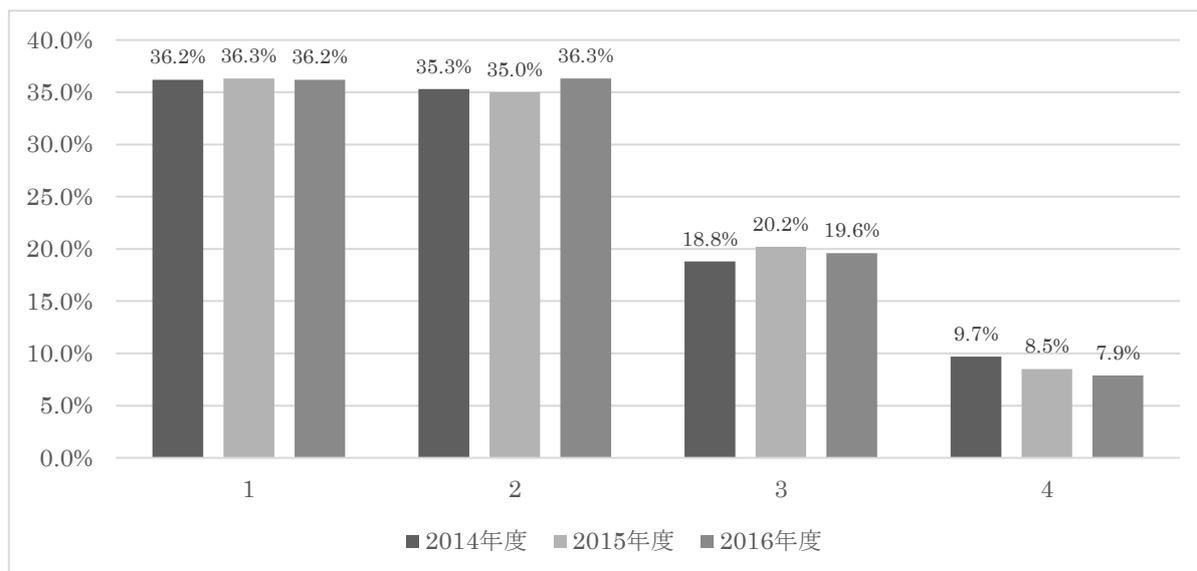
#### ● 「Q 2. 所属する学部・学科についての専門的知識が身に付いたと思いますか。」



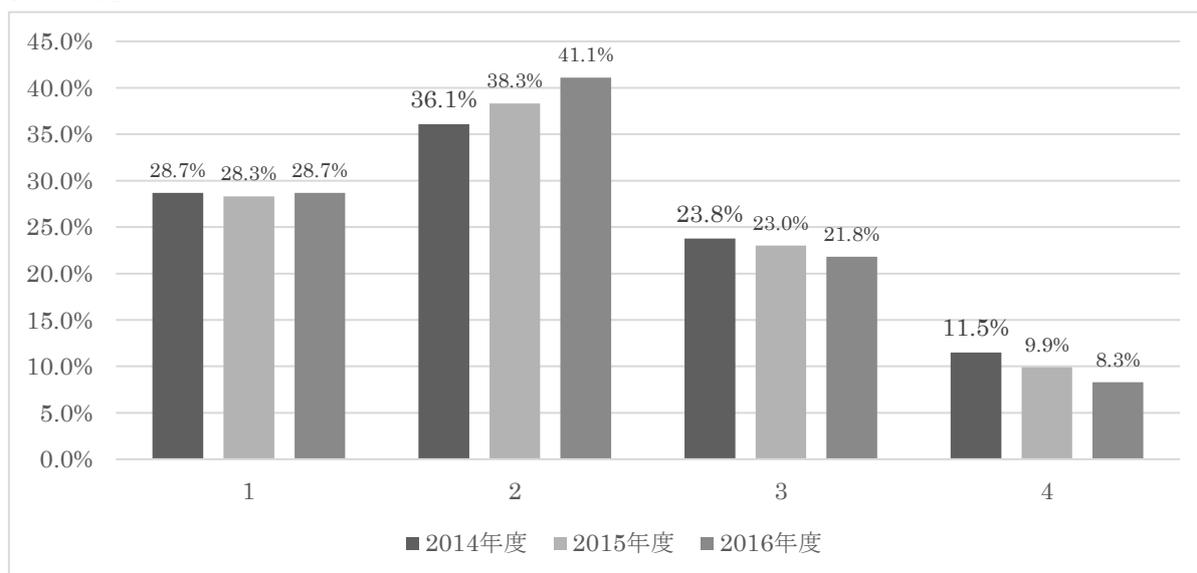
「そう思う」「少し思う」の2014年度の値は87.9%、2015年度は88%、2016年度は88%と高い値であった。「教育の大東」としては、もう少し高い値を目指すべきであると思われる。

学科毎にみると、2016年度は書道学科の100.0%、日本文学科の96.3%と高い値が出ている。しかし、各学科の特性（例えば、社会科学系の学科は、専任教員一人当たりの学生数が相対的に多く、大講義型の授業形態が多い等）を考慮したうえで、結果の値を考える必要がある。

●「Q3. 授業以外で教員から声をかけられて挨拶をしたり親しく会話をしたりしましたか。」



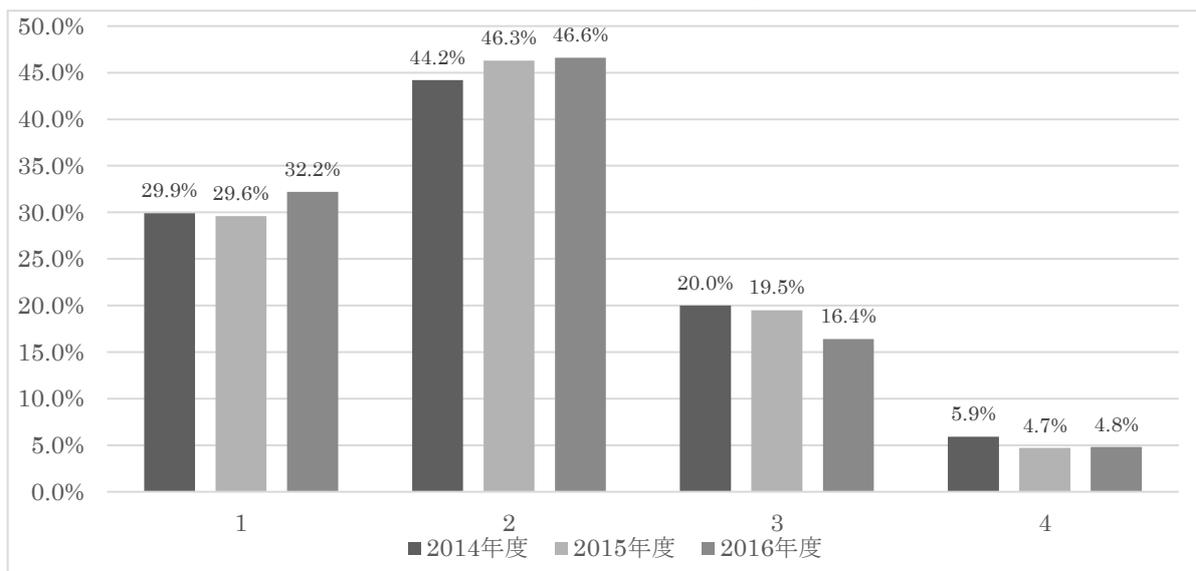
「Q16. 事務職員から挨拶をされたり話しかけたりするなど、親身に接してもらったと思いますか。」



「Q3」の教員との親密度、「Q16」の事務職員との親密度は、比較をするためにあえて設けてある。教員との親密度は3年間のデータとも値が高い。特に「そう思う」のみの値の中で、書道学科が75.0%、スポーツ科学科が69.7%と非常に高いことを指摘しておきたい。引き続き親密な関係の構築にご尽力をお願いしたい。

一方、事務職員の親密度は、教員より高くはないが、部局によっては学生と触れ合う機会が少ないこと、接する場面や状況を考慮すると健闘しているといえる。また、注目すべき点は、「そう思う」の値こそ変わらないものの、「少しそう思う」の値が、36.1%、38.3%、41.1%と徐々に高くなっていることである。窓口対応の意識が高くなっていることが推察でき、今後の事務職員のさらなる活躍に期待したい。

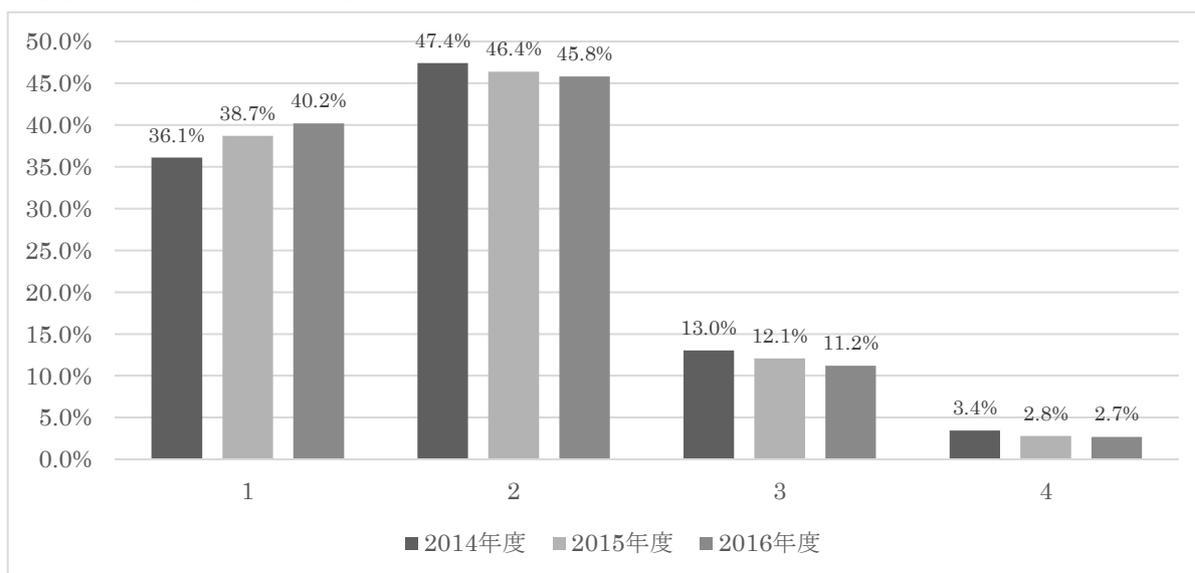
● 「Q 4. 大学4年間で自分の目標を達成できましたか。」



何を以って「大学4年間の目標」と捉えるかは学生の解釈次第であるが、仮に学生の目標が大学生活の中になくとも、大学4年間で充実した時間を過ごしたか否かを尋ねたいという目的から、この設問を置いている。

「そう思う」ならびに「少しそう思う」の値が上昇傾向にある。いずれも若干の数値であるが、大学生の年齢を考えると、「思う」の値が大きく上昇するのが望ましい。大学だけの問題ではない要素も含まれると思われるが、せめて大学内での生活が充実して送れるように、大学として努めるべきであろう。

● 「Q 5. 社会を生き抜く力（マナー、自己管理能力、コミュニケーション能力、問題解決能力など）が身についたと思いますか。」



2014年度からは文科省も使用している「社会を生き抜く力」と文言修正した。

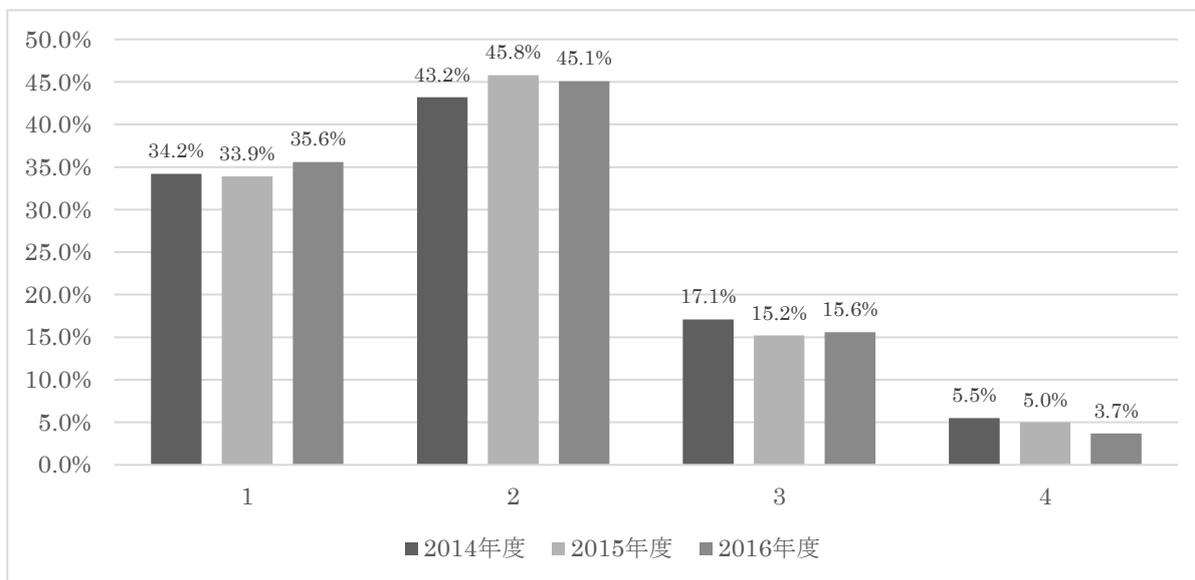
「そう思う」の値に注目すると、2014年度は36.1%、2015年度は38.7%、2016年度は40.2%と上昇した。

2014年度の「そう思う」「少しそう思う」の値が83.5%、2015年度が85.1%、2016年度は

86.0%で、全体としては高い数値で推移している。

「社会を生き抜く力」は、「社会人として通用する力」と捉える学生が多いと推察している。その中で、この数値が出ていることに安堵感を覚える。

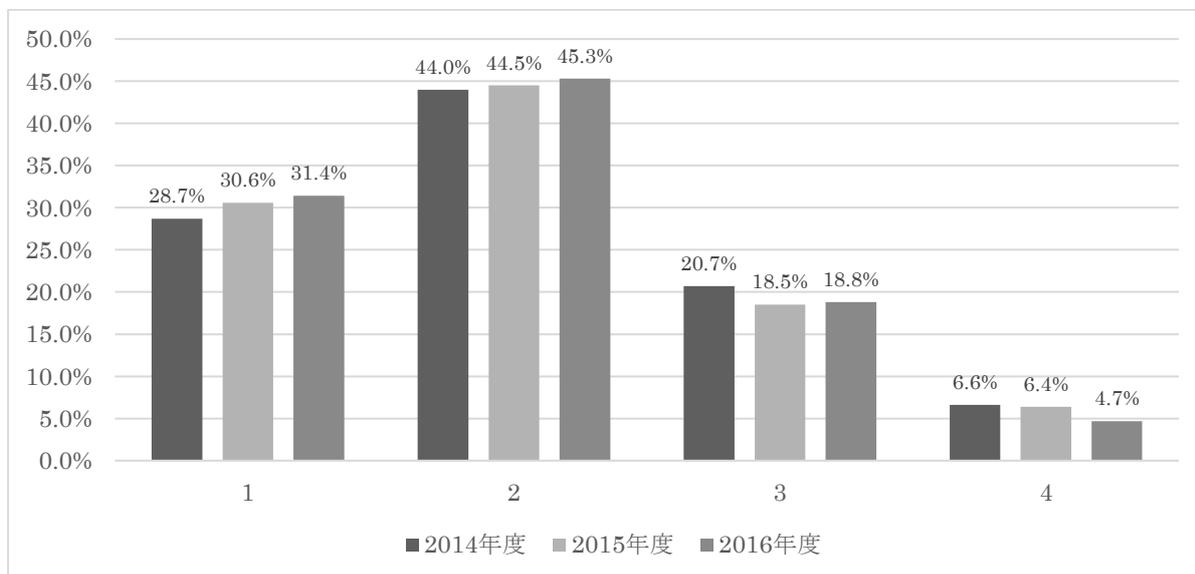
●「Q 6. キャンパス施設は満足できるものでしたか。」



2014年度からの設問である。「キャンパス施設」とは「どこのことか」は、学生によって解釈が異なることは承知している。「どの施設」と特定して幾つか項目を分けることも検討したが、アンケート設問数の限りもあり包括的な内容で問うことにした。

「そう思う」「少し思う」の値は80.7%、「そう思う」のみの値は35.6%で諸手を上げて「満足できる施設だった」という回答ではなかったものの、まずまずの施設であるという評価を得たというところであろう。

●「Q 7. 授業科目の開講曜日・時限は、自分にとって時間割が組みやすいものでしたか。」



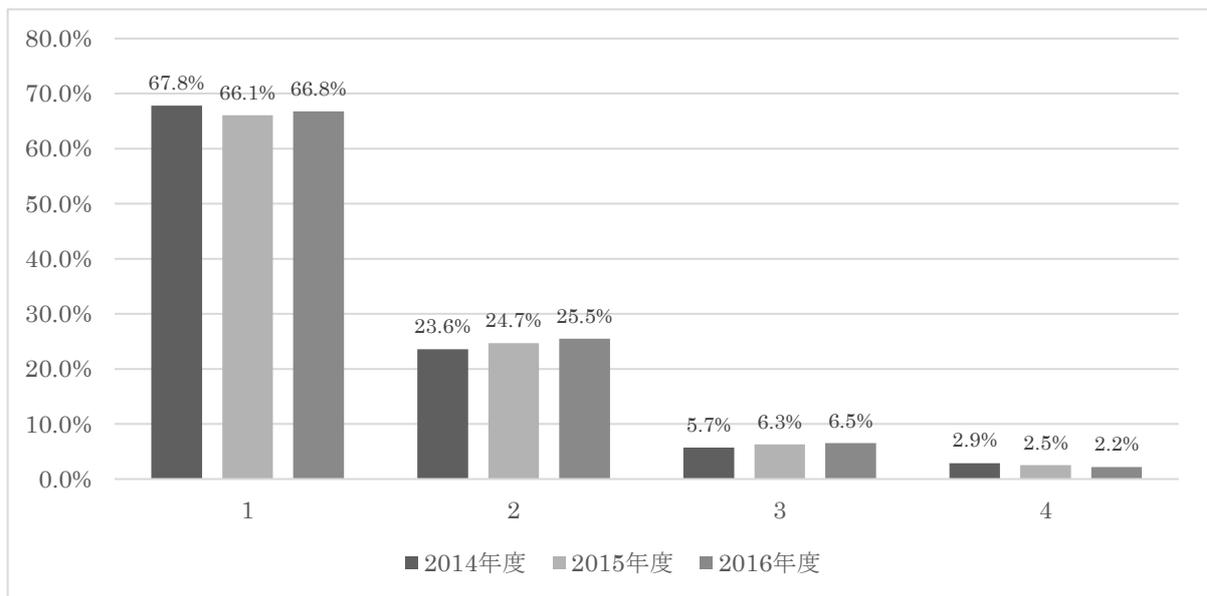
以前から時間割の偏りの問題が学内で指摘されており、平準化を求める声も多いため、重要な設問の一つとして考えている。

高い授業料を支払う学生に対して履修しやすい時間割を提供することは、最重要課題の一つであるといえる。限られた教室割振り、時間割の偏りによる（特に東松山校舎の）スクールバスの込み具合など様々な影響もあり、それを調整する教務・学部事務室の業務の負荷は相当なものであることを認識していただきたい。

その中で、各値が大きな変動がない、特に高い評価の値が上がっていないことに注目したい（他の設問と比較すると高い値であるが、設問の性質上、高いとはいえない。）。

学生にとって組みやすい時間割と学生生活を提供するために、各学部・学科においてバランスのとれた学科目編成および出講曜日・時限設定の協力と配慮が望まれていること、事務側の負担が限度を超えていることを強調しておきたい。

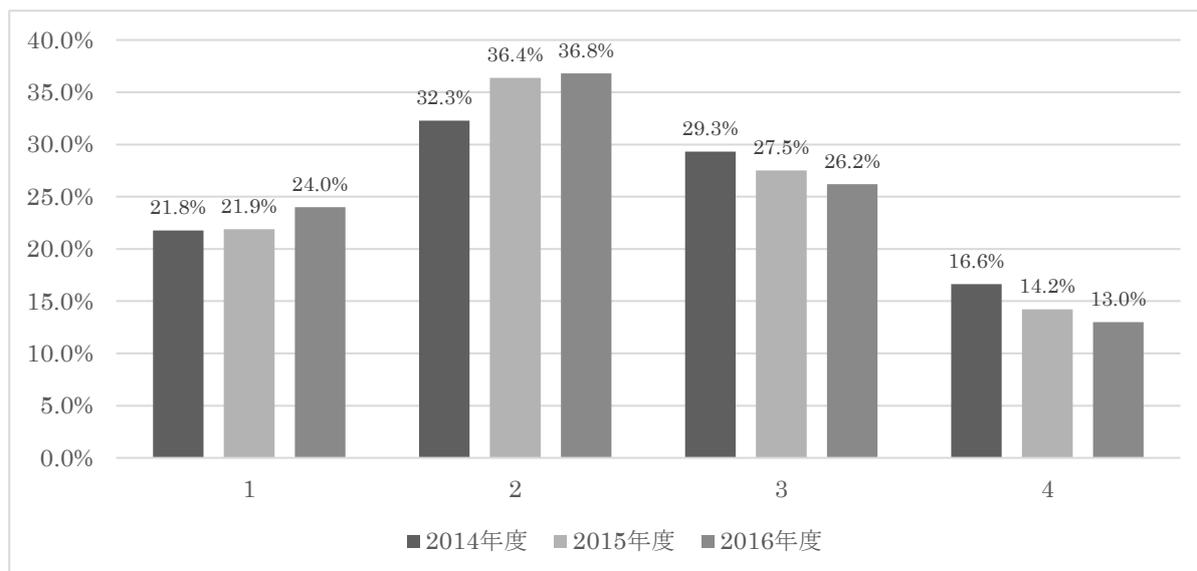
●「Q8. 大学生活の中で友達と呼べる仲間ができましたか。」



大学生活に馴染めない学生が多く発生しているとの報告が、全国的にある中で、全体として高い数値が出ていることにはひとまずは安堵したい。

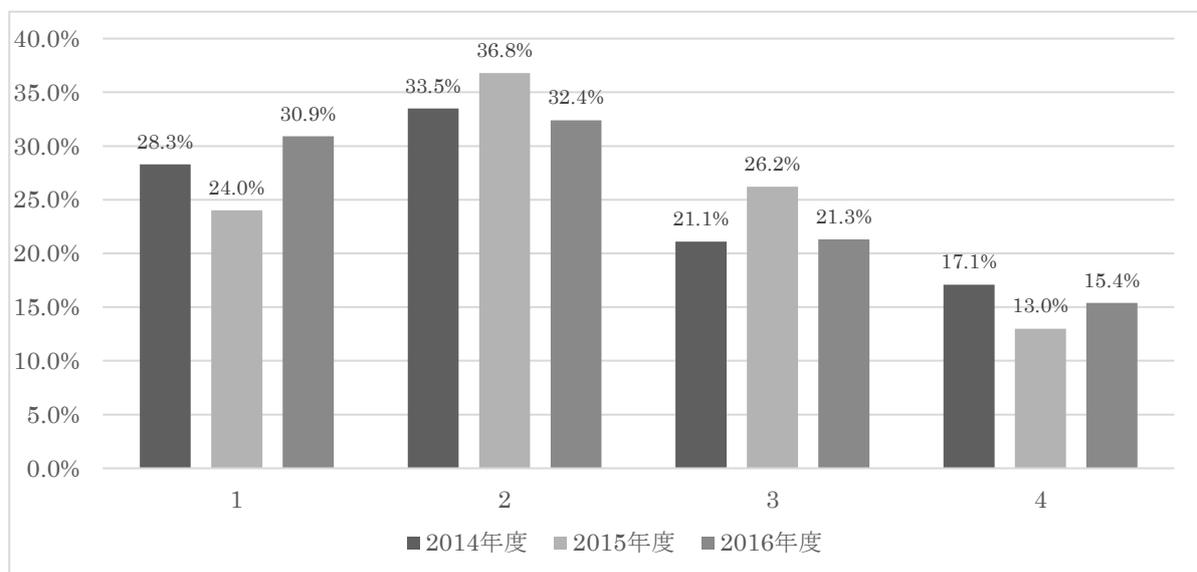
しかしながら、2016年度の「あまり思わない」「そう思わない」の値は8.7%で、2014年度及び2015年度とあまり変化がない。「少ないからいいだろう」とは楽観できない。この設問の回答者の総数は1,962名、約170名の学生が「友達といえる存在がいらない」又は「そういいきれない」と思っているのである。これは卒業できた回答者の値であるため、途中で退学した学生の中には、友達ができず孤独感に苛まれていた人が少なからずいたであろうことが容易に推測できる。これは大学として重要な課題だといえる。

●「Q9. 相談や悩みを解決するための大学サービス（相談窓口）をよく知っていましたか。」



2015年度の「そう思う」「少し思う」の値は58.3%、2016年度は60.8%である。「そう思う」のみの値をみると21.9%から24.0%と上がっていて、一方では「あまり思わない」「そう思わない」の数値は下降状態である。大学サービス（相談窓口）を学生が把握できることをさらに期待したい。

●「Q10. 就職などの進路について、教員に相談しましたか。」

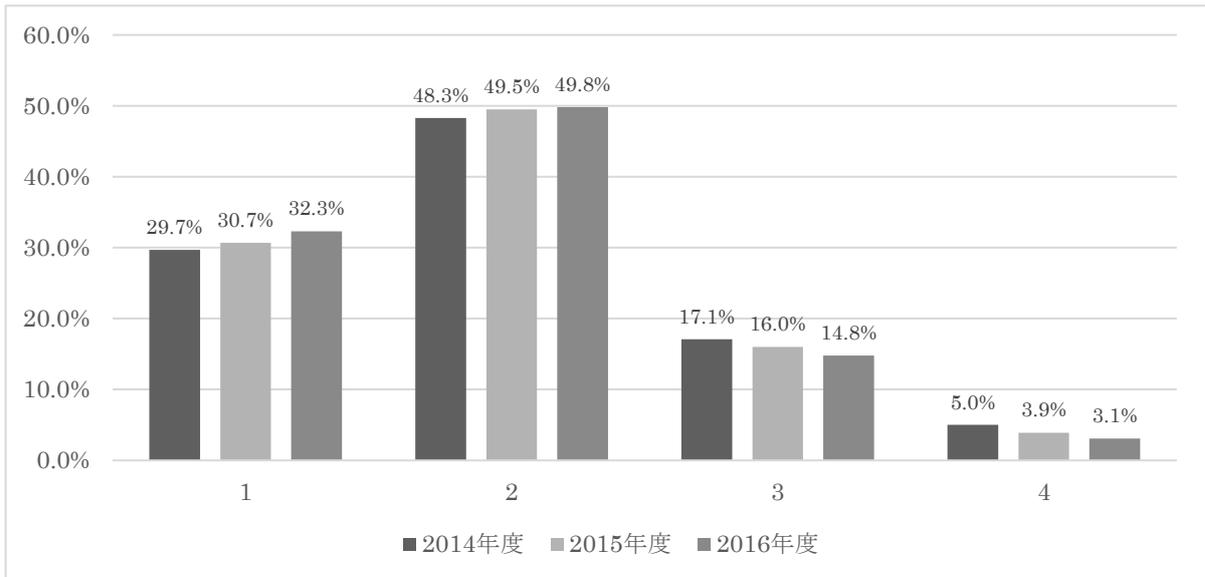


この設問の意図は、教員側（各学科のカリキュラム、各ゼミ及び各教員の就活指導など）のキャリア（就職）指導と相談がどの程度行われているかを問うものである。

2015年度の「そう思う」「少し思う」の値は60.8%、2016年度は63.3%と上がっている一方、「そう思わない」が上昇傾向にあることが気にかかる。学部・学科の授業やゼミの中でキャリア対策が充実されてきた結果である。相談する学生とそうでない学生がはっきりしている。

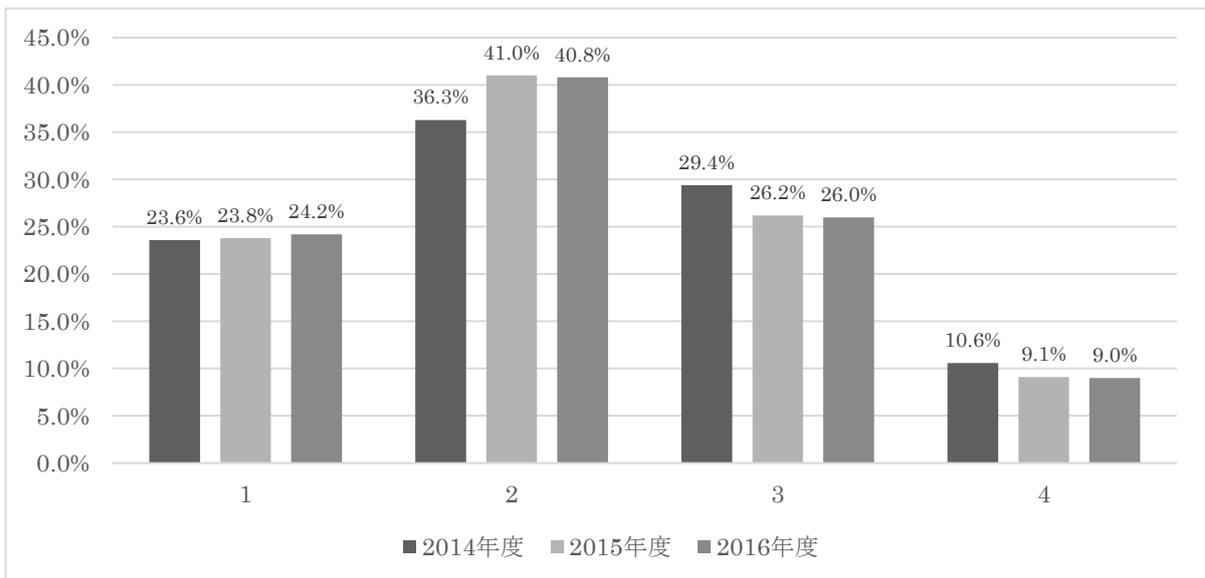
いずれにせよ、キャリアセンター事務室だけに任せることなく、教員側でも可能な限りキャリア対策に積極的に行っていく必要があると考える。

● 「Q11. 4年間を通じて満足できる教育を受けたと思いますか。」



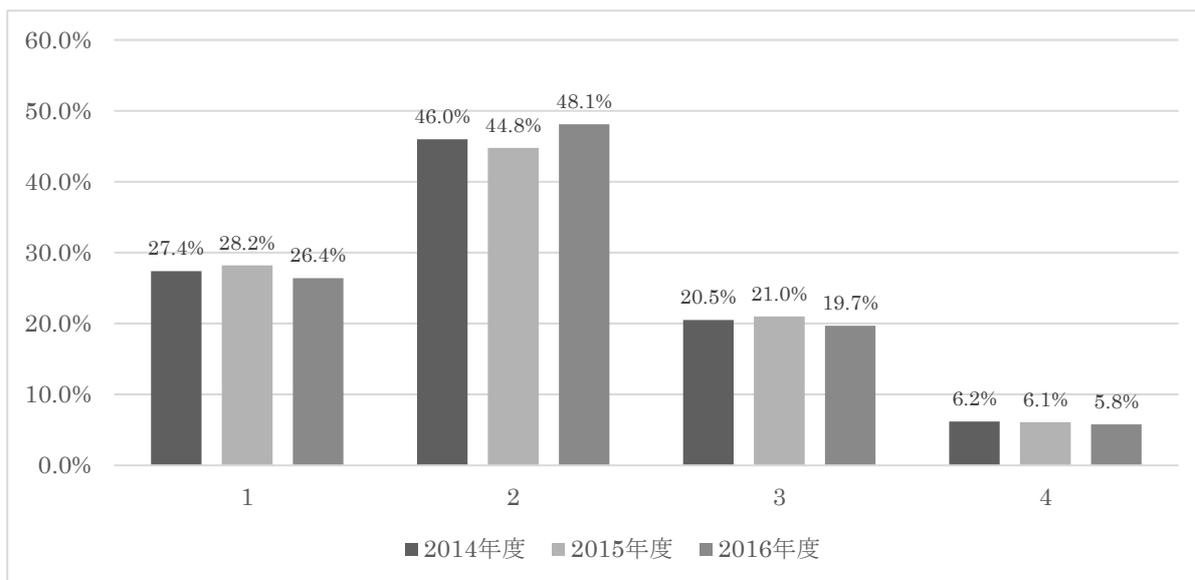
2014年度に新設した設問である。「そう思う」「少しそう思う」の2015年度の値は80.2%、2016年度の値は82.0%で上昇している。「Q2」の「専門的知識の習得」を問う設問の値は88.0%であり、その関連性があるのではないかと考えており、昨年度より近い数値となってきた。勿論、学生の中で「専門的知識の習得」と「満足できる教育」で別の基準があるとも考えられるが、両者の値が高くなってきている状況は望ましい。

● 「Q12. 履修や学習について教員と相談する機会が十分にありましたか。」



「そう思う」「少しそう思う」の値がほとんど変わらない。教員によるこれらの相談は、事務の窓口相談や学生自身で解決できない場合、大いに期待されることである。さらに教員と学生による相談の機会が増えることを期待したい。

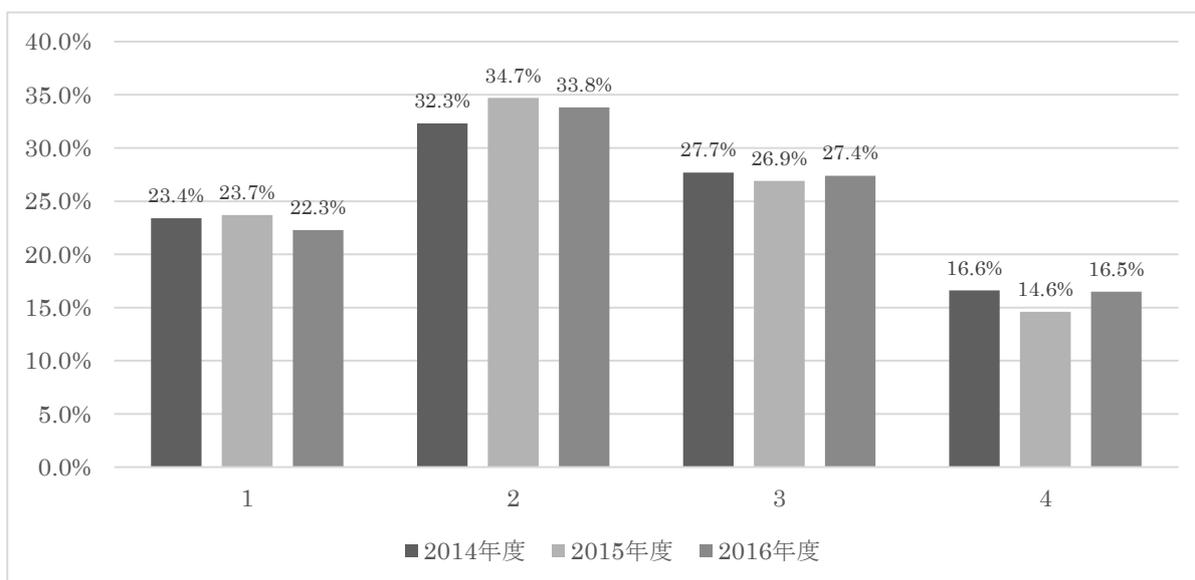
●「Q13. 入学前にもっていた期待は十分満たされましたか。」



「何を以って入学前の期待」と受取るかは学生によって異なるが、入学前と卒業時の学生の満足度を聞いてみたいという目的からあえてこの設問を置いている。

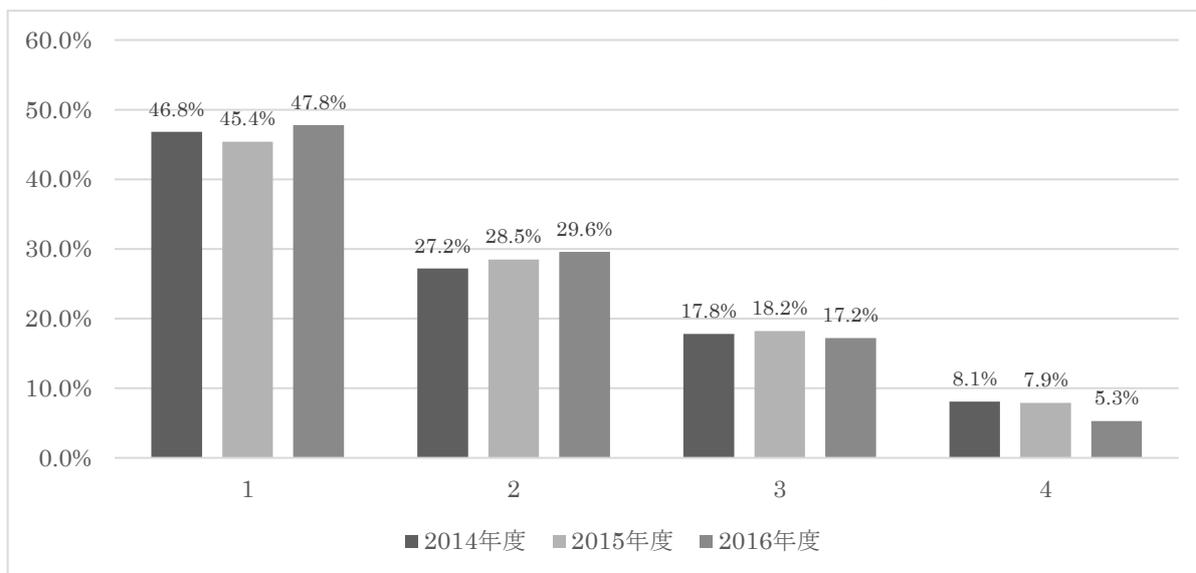
値は、ほぼ横ばい状態である。本学に限らず「大学自体に対して期待されていること」をあらためて検証すべきなのかもしれない。

●「Q14. 卒業後に本学からメール・FB等で定期的な連絡（大学ニュース、イベントなど）があるとよいと思いますか。」

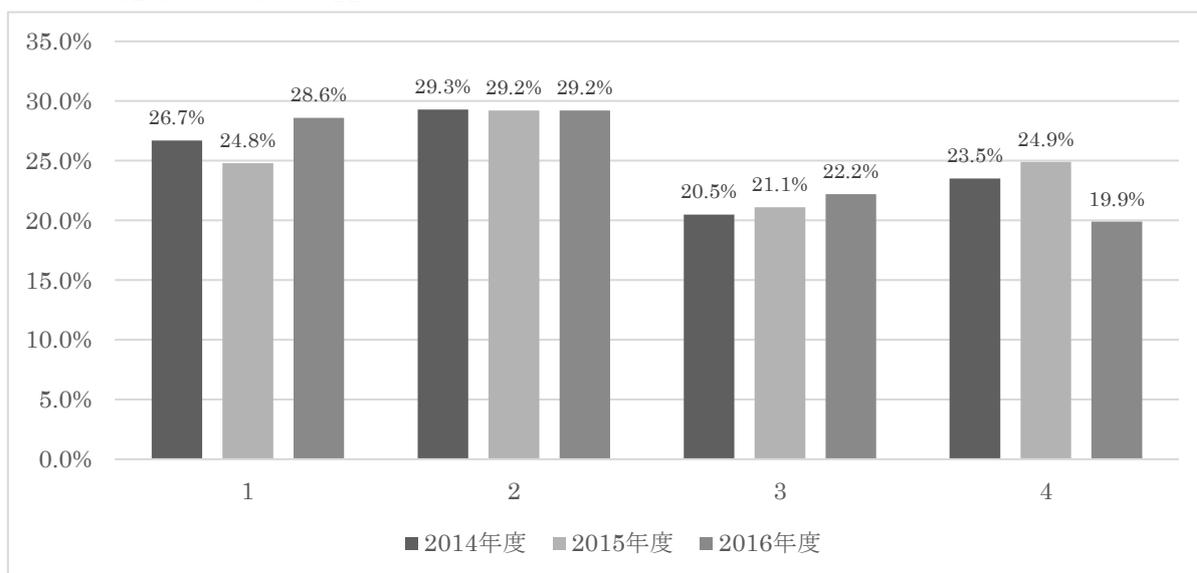


「そう思う」「少し思う」の値が 55.7%、58.4%、56.1%と少しずつ下降している。また、「あまり思わない」「そう思わない」の値も徐々に上昇していることは、何かしらの対策を講じなければならないと思う。

● 「Q15. 4年間を同一キャンパスで学ぶ方が良いと思いますか。」



「Q20. 1・2年次と3・4年次で勉学環境が変わるのは負担でしたか。【国際関係学部とスポーツ・健康科学部除く】」



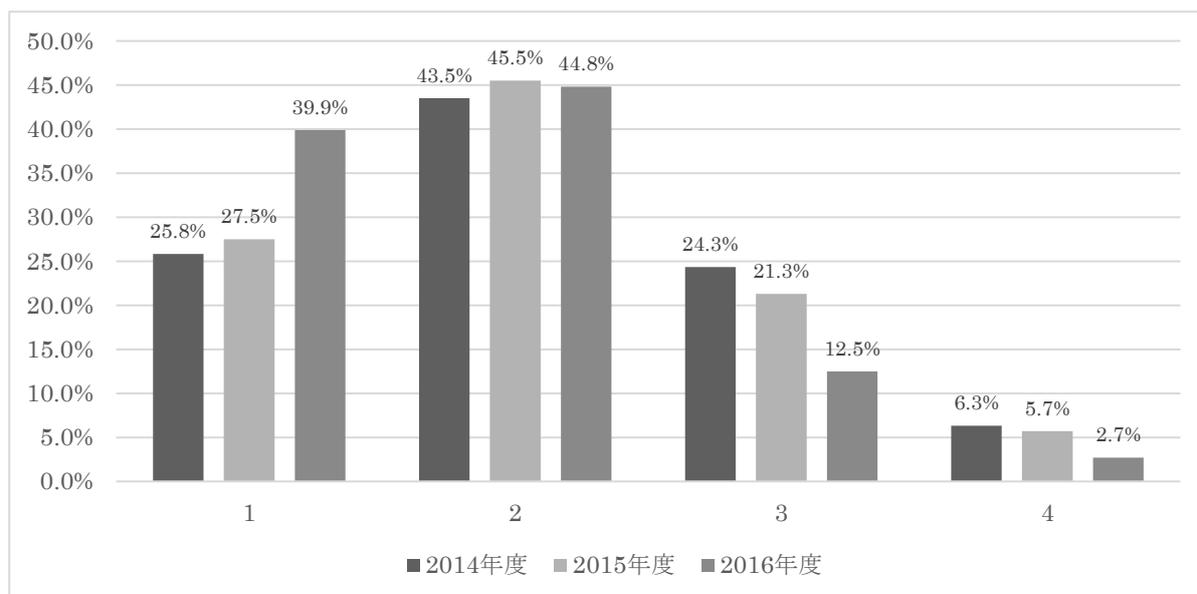
「Q15」の「そう思う」「少し思う」の2014年度の値は74.0%、2015年度は73.9%、2016年度は77.4%で、「4年間を同一キャンパスで過ごしたい」という学生の意見が多いといえる。

「Q20」の「そう思う」「少し思う」の2014年度は56.0%、2015年度の値は54.0%、2016年度の値は57.8%であった。キャンパスが変わることで、勉学環境について負担に思っている学生の回答値が上がっている。本委員会では「負担に思っている」学生が多いと予想していたが、必ずしもそうではないことが分かった。

上述のことから、キャンパス問題について、「Q15」と「Q20」の結果のみで結論付けることは叶わないが、検討する際の貴重な材料にさせていただければ幸いである。

また、一学部でキャンパスが分かれている（6学部）ことによって様々な弊害があることは周知のことであるため、このアンケート結果のみに捉われず、多角的な視点からの議論を期待したい。

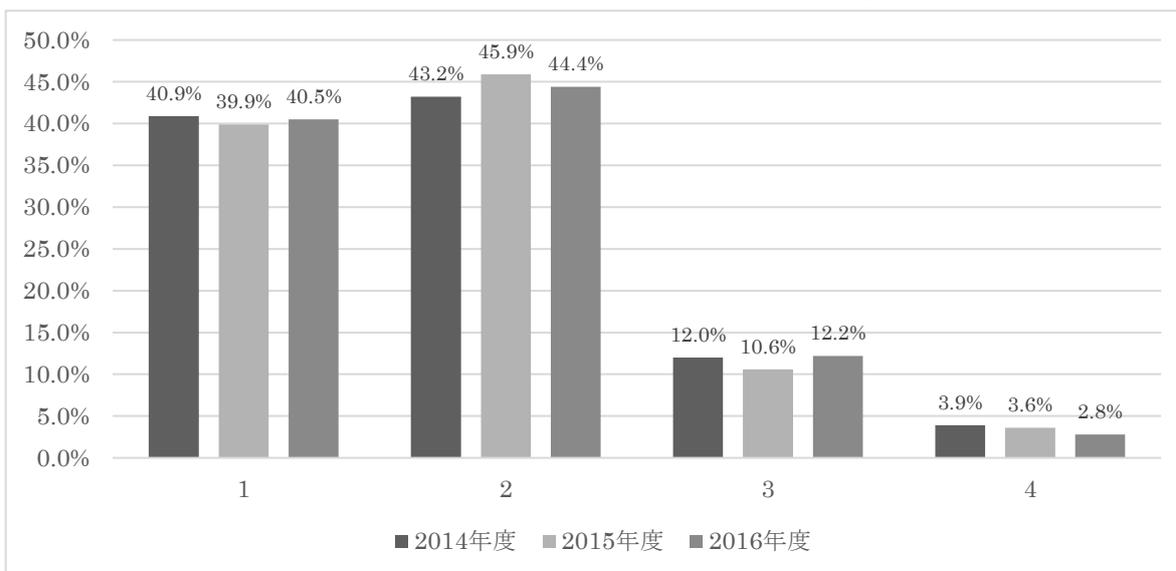
●「Q17. 1年次に手厚い教育（大学で学ぶべことや生活の指導）を受けましたか。」



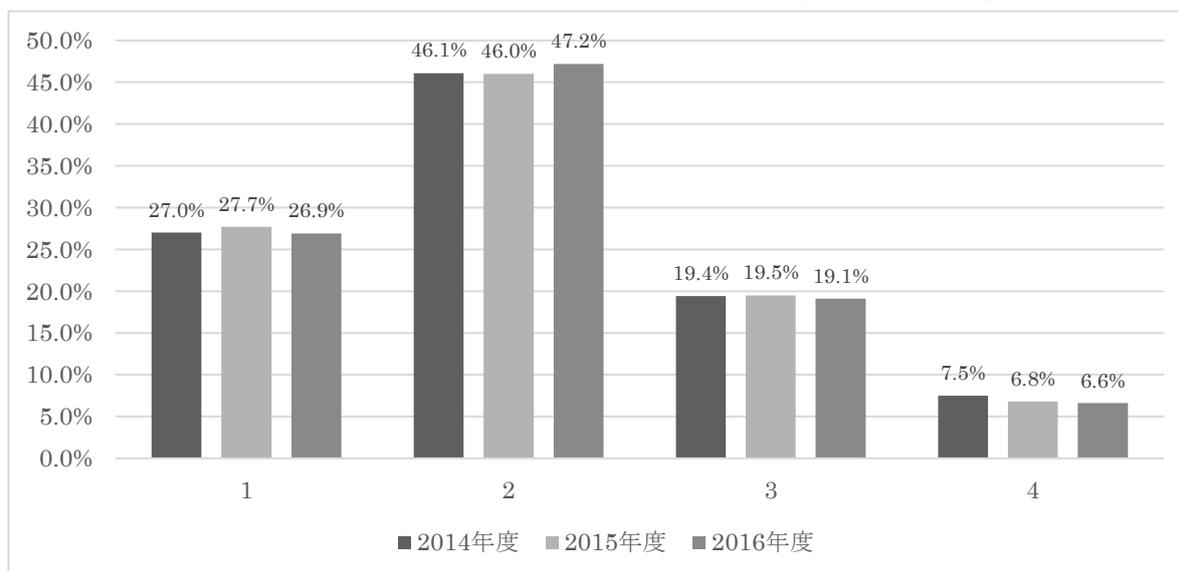
2014年度から「1年次」と明確な表現に変更した。「そう思う」「少し思う」の値は、2015年度は73.0%、2016年度は84.7%で、特に「そう思う」の値が39.9%もあった。大学で学ぶことや生活の指導について、高校からの生活環境変化に学生が適応できるような指導が根付いて来ている。より一層1年次の教育面と生活面指導を充実させ、この値が上がることを期待する。

各学科の「そう思う」の値をみると、書道学科は、2015年度が36.7%、2016年度は71.9%と突出して高い数値であった（他学科も軒並み上昇傾向）。

● 「Q18. 本学でのあなたの学生生活は満足できるものでしたか。」



「Q19. 後輩・知人・友人などに大東文化大学への入学を勧めますか。」



「本学全体の評価」を図るために「Q18」と「Q19」を設けている。

「Q18」は、学生の「学生生活」が全て「大学における生活」とはいえない点を含めての数値を捉えてほしい。

「Q19」の設問の文言について、本委員会では、「満足できない大学」を他の人へ入学を進めることは考えにくいとため、この問いこそが本学の「満足度」を調査できると考えている。

「Q18」の「そう思う」「少し思う」の数値は、2014年度が84.1%、2015年度が85.8%、2016年度が84.9%であった。「Q19」の「そう思う」「少し思う」の値は、2014年度が73.1%、2015年度が73.7%、2016年度が74.1%であった。好ましい傾向といえるが、「少し思う」の値が高いことが懸念点ではないだろうか。厳しい見方をすれば、大学として「そう思う」（肯定的回答）が限りなく高くなることを目標とするべきであると考えている。

以 上